

KENWOOD

ミニディスクレコーダー

DM-5090

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書・別冊『安全上のご注意』が付属されています。
使用者の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。



B60-3496-00 (JA) (J) MC
98/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 97/12 11 10 9 8

2 本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットを採用したオーディオ機器です。ミニディスク(MD)とは、光および光磁気の技術を応用して、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(OD)と同等になっています。また、光学式非接触方式なので、外部要因で録音記録が劣化することがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくこともありません。

高音質再生ができる"^{ドライブ}D.R.I.V.E."

本機には当社独自開発の"^{ドライブ}D.R.I.V.E."

を搭載しており、高音質再生ができます。
(D.R.I.V.E.: Dynamic Resolution Intensive Vector Enhancement)

サンプリング・レート・コンバーター 搭載

本機にはあらゆるデジタルソース(32kHz, 44.1kHz, 48kHz)に対応したサンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

- 48kHz :DATの標準モード。 BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1kHz :DATの標準モード。 CD,MD等。
- 32kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

多彩な編集機能

通常の編集(MOVE、^{ムーブ}DIVIDE、^{ディバイド}COMBINE、^{コンバイン}ERASE)に加え、一度に曲順をまとめて移動できる^{フック}QUICK MOVE機能や、任意の曲を簡単にERASEすることができる^{ムーブ}QUICK ERASE機能など、多彩な編集機能を搭載しています。

タイトル・インプット タイトル・サーチ搭載

マルチジョグダイヤルを使って簡単にタイトルが入えられる"タイトルインプット"と、聴きたい曲のタイトルを確認しながら探せる"タイトルサーチ"に加え、良く使うタイトルをプリセットできる"プリセットタイトル"機能を搭載しています。

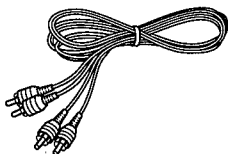
サイバー・タイトラー対応

別売のサイバー・タイトラー(CT-G90またはCT-H90)を利用することにより、タイトル入力やタイトル印刷およびタイトル編集などができ、データとを双方向通信でやり取りすることができます。

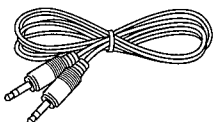
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

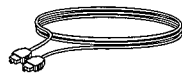
オーディオコード(2本)



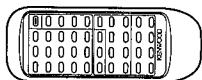
システムコントロールコード(1本)



光ファイバーケーブル(1本)



リモートコントロールユニット(1個)



リモコン用単3乾電池(2本)



⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

目次

はじめに.....	2
本機の特徴.....	2
目次.....	3
知っておきましょう.....	4
^{ミニディスク} MDシステムとは.....	6
⚠ 接続のしかた.....	8
各部のなまえと働き.....	10
表示部/本体部.....	10
リモコン部.....	12
リモコンの使いかた.....	13
^{ミニディスク} MDを聴く.....	14
1曲目から順に聴く.....	14
聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH).....	15
聴きたい曲を選ぶ.....	16
RANDOM再生するには.....	16
プログラムのしかた.....	18
曲順を自由にプログラムする.....	18
繰り返し聴く (REPEAT).....	20
便利な録音関連キーの使い方.....	21
^{オート} AUTO/ ^{マニュアル} MANUAL キーについて.....	21
^{モニター} MONITOR キーについて.....	21
^{レコ} REC ^{モード} MODEキーについて.....	22
録音のしかた (ANALOG).....	24
^{アナログ} ANALOG録音のしかた.....	24
録音のしかた (DIGITAL).....	26
^{デジタル} DIGITAL録音のしかた.....	26
CDとのシンクロ録音のしかた.....	28
^{デジタル} DIGITAL録音とSCMSについて.....	28
編集機能.....	29
編集機能のタイプを選ぶ.....	29
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE).....	30
曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE).....	32
再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE).....	34
再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE).....	36
再生中の曲を消す (TRACK ERASE).....	38
任意の曲を消す (QUICK ERASE).....	40
タイトル編集のしかた.....	42
サイバー・タイトラーを使うとき.....	46
ディスプレイ表示の切り換えかた.....	47
^{タイムディスプレイ} TIME DISPLAYキーについて.....	47
^{レベルメーター} LEVEL METER MODEキーについて.....	47
タイマーを利用して.....	48
故障と思われる症状ですが.....	49
定格.....	52
保証とアフターサービス (必ずお読みください).....	53

取扱上のご注意

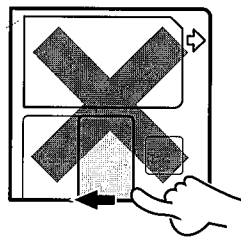
ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。

いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

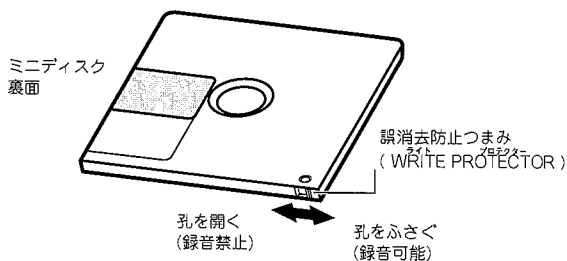
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECTOR)を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ミニディスクを入れずに **POWER** キーをオンにします。
 - ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. **POWER** キーをオフにします。

NO DISC

設置場所について

MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

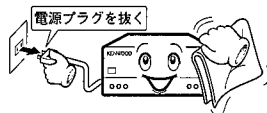
ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを「露付き」といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。

これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態、または^{パワー}POWERキーが^{オフ}OFFの状態でのメモリーの記憶時間は周囲の環境によって変化することがありますが、約3週間です。

長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報（ミニディスク取り出し時に記録される）がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。

録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれておりません。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人
私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
電話 (03) 5353-0336 (代)
FAX. (03) 5353-0337

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

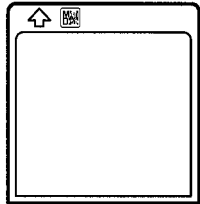
ミニディスクシステムの特徴をまとめると、次のようになります。

6

- ①CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ②カートリッジに入った直径64mmのミニディスクを使用する。
- ③2種類のミニディスクに対応する。(再生専用、録音→再生)
- ④高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤半導体メモリーを使った耐震技術。

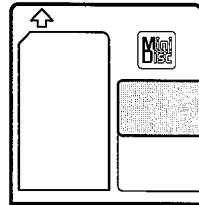
再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ビット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



録音用ミニディスク

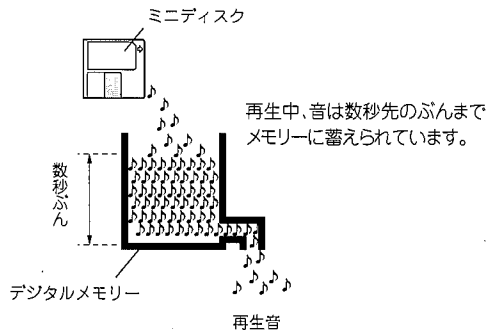
録音が可能なミニディスクで、光磁気ミニディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ミニディスクの下面からレーザー光を照射し、ミニディスクの上面から磁界を印加して記録しています。



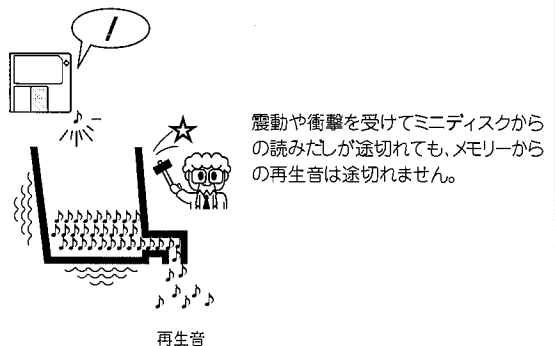
音とび防止メモリー

本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時



震動があったとき



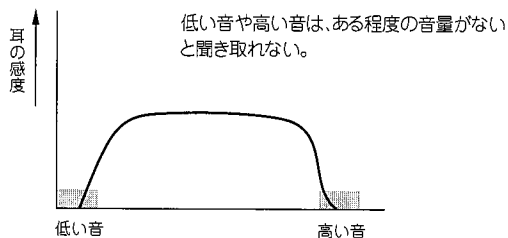
アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング

高能率符号化技術 "ATrac" (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された高能率符号化技術によって可能となりました。

ATracとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音



大きな音の近くの小さな音

大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。(マスキング効果)



モノラル録音

本機は、モノラルで長時間の録音（モノラル長時間モード）ができます。録音時間はステレオモード時の約2倍になります。モノラルで録音したミニディスクは、モノラル再生対応をしていない機器では、正常に再生できません。

— 14

ダイナミック リゾリューション インテンシブ ベクター エンファースメント

"D.R.I.V.E." (Dynamic Resorution Intensive Vector Enhancement) システム

本機には当社独自開発の"D.R.I.V.E."を搭載しており、高音質再生が可能です。

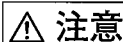
- ① 微小信号の再現性が圧倒的に向上したことで、音楽の余韻の再現が際立ちます。しかも、安定感、臨場感、アタック音や低音の再現まで格段の違いを聴かせてくれます。
- ② D.R.I.V.E.システムは、入力信号と出力信号の音楽成分の相関性が完全に保たれ、原理的に音質の劣化は生じません。

接続のしかた

DM-5090 (J)

8

下図のように接続してください。
 関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。



注意

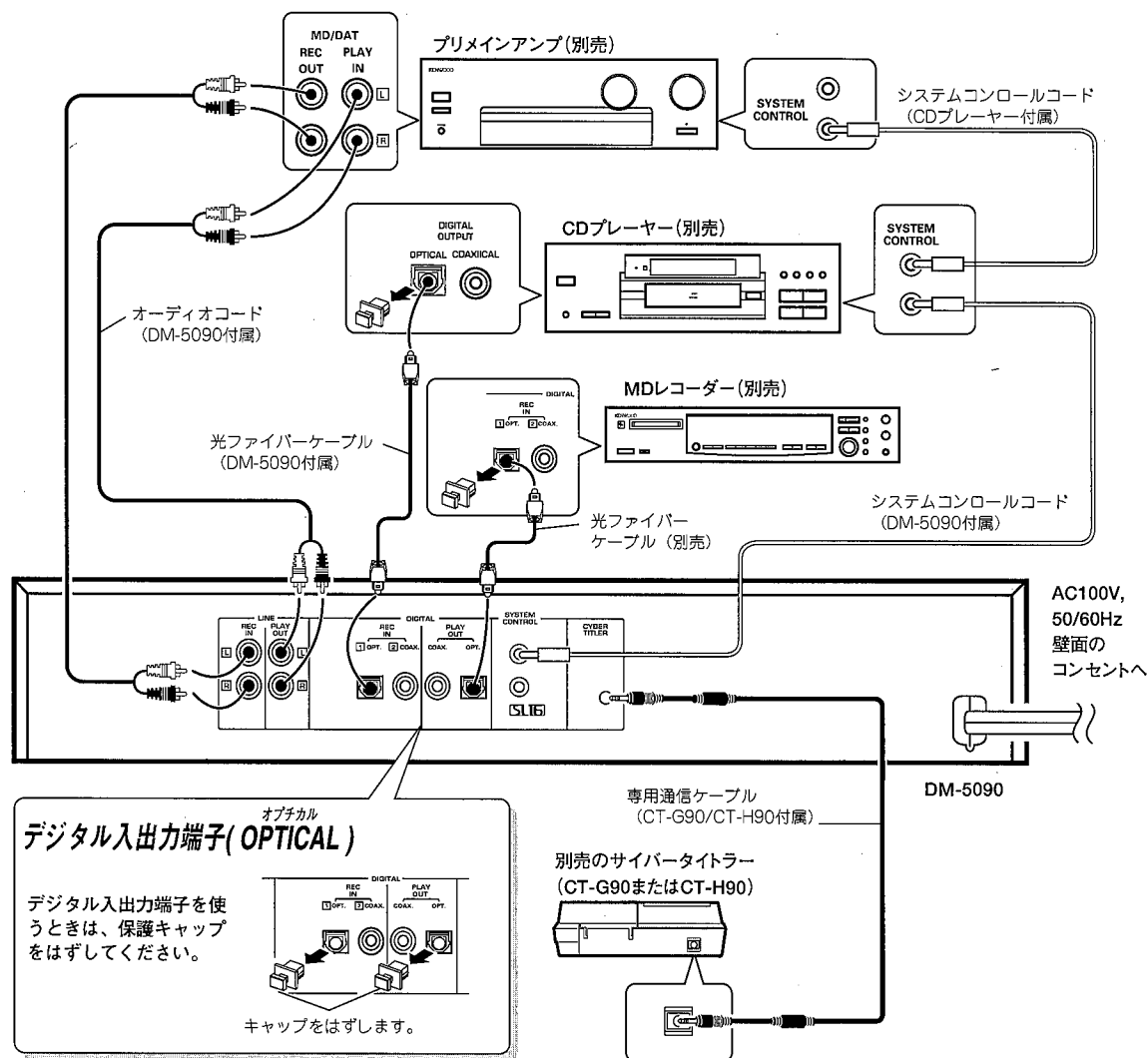
接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

マイコンの誤動作について



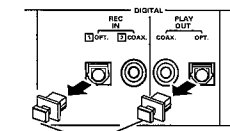
正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。

→ 49



デジタル入出力端子 (OPTICAL)

デジタル入出力端子を使うときは、保護キャップをはずしてください。



キャップをはずします。

- オーディオコード(両ピンコード)は、白のプラグを左(L)端子に、赤のプラグを右(R)端子に接続してください。
- サイバー・タイトラーを接続される場合は、「サイバー・タイトラーを使うとき」をご覧ください。

→ 46



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

システムコントロールコードの接続について

システムコントロール接続について

ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。

ケンウッドのシステムコントロールは、2種類のモードがあります。下記の端子記号の組み合わせ例に従って接続してください。

[XS8] のモード : [XR], [XS], [XS8]の組み合わせ

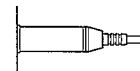
[SL16] のモード : [SL16]のみの組み合わせ

本機は [SL16] に対応しています。

システムコントロール接続する機種が全て [SL16] のモードに設定されている場合、本機とシステムコントロール接続することができます。



- [SL16]と[XR], [XS], [XS8]等とのシステム動作の組み合わせはできません。もし、このような組み合わせであった場合は、システムコントロールコードは接続しないでください。システムコントロールコードを接続しなくても、通常の性能、操作性が損なわれることはありません。
- アンプ、レシーバーにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にもなにも接続しないでください。
- 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
- システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。



システムコントロール動作について

リモートコントロール

アンプまたはレシーバーに付属するシステムリモコンで、本機を操作することができます。

イーザーオペレーション

本機の再生を始めると、アンプまたはレシーバーの入力切替が自動的に切り替わります。

シンクロ録音

アンプの入力切り換えをCDにして、CDを録音するとき、プレーヤーの再生を始めると、連動して録音を開始することができます。

- CD以外のデジタルを録音中に、CDを操作しないでください。誤動作する場合があります。

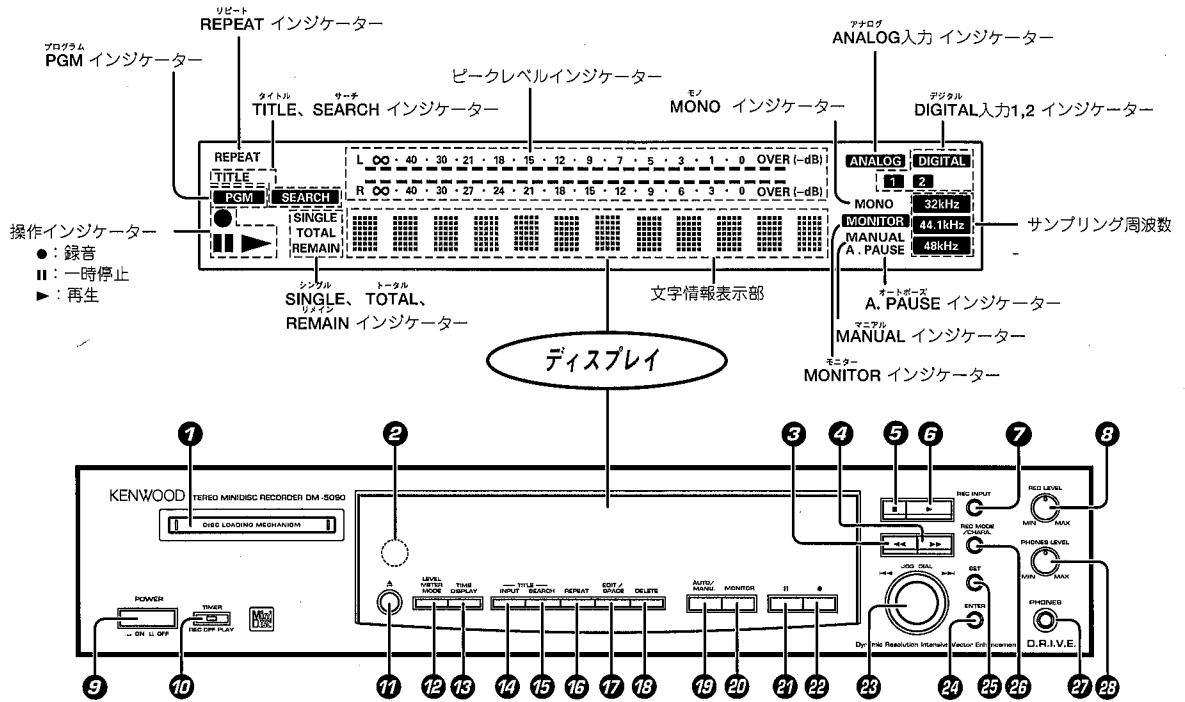
→ 28

光ファイバーケーブルの接続について

CDプレーヤー(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

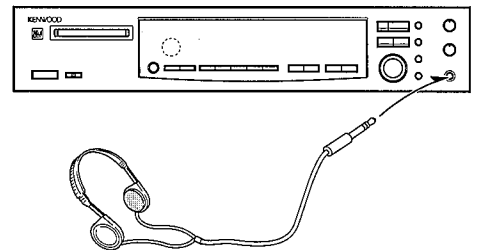
- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

10 表示部/本体部



ヘッドホンを使うには

市販のステレオヘッドホン(標準プラグ付)をPHONES端子に差し込み、前面のPHONES LEVELつまみで、お好みの音量に調節してお聴きください。



スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

本体部のキー説明

- ① ミニディスク挿入口
: スタンバイ状態のとき、ミニディスクを挿入すると自動的に電源がオンします。
- ② リモコン受光部
- ③ マニュアルサーチダウン(◀◀)キー - [17] - [44]
: 再生時は、早戻しに使用します。
: 各編集モードのときは、タイトル入力のカーソル移動やトラック表示内容の送りをします。
- ④ マニュアルサーチアップ(▶▶)キー - [17] - [44]
: 再生時は、早送りに使用します。
: 各編集モードのときは、タイトル入力のカーソル移動やトラック表示内容の送りをします。
- ⑤ 停止(■)キー
: 再生や録音動作を停止させます。
- ⑥ 再生(▶)キー
: 再生キーとして使用します。
- ⑦ REC INPUTキー - [24]
: 録音入力のデジタル(オプティカル/コアキシャル)、アナログ、モノラルのいずれかに切り換えます。
- ⑧ REC LEVELつまみ - [29]
: アナログ録音のレベルを調節します。
- ⑨ POWERキー
: 電源のオン/オフをします。
: また、POWERキーでオンしたときに、スタンバイ状態になることがあります。これは、前回リモコン操作のスタンバイ状態を覚えているためです。
- ⑩ TIMERスイッチ
: タイマー再生、タイマー録音のときに使用します。通常は、タイマーオフにしておきます。
- ⑪ イジェクト(▲)キー
: ミニディスクを取り出すときに押します。
- ⑫ LEVEL METER MODEキー - [47]
: レベルメーター表示の内容を切り換えます。
- ⑬ TIME DISPLAY キー - [47]
: 時間およびタイトル表示のモードを切り換えます。
- ⑭ TITLE INPUT キー - [42]
: タイトル入力モードのオン/オフをします。
- ⑮ TITLE SEARCHキー - [15] - [43] - [44]
: タイトルサーチモードのオン/オフをします。
: タイトル編集時、タイトル変更入力時の"上書きモード"、"挿入モード"の切り換えをします。
- ⑯ REPEATキー - [20]
: 繰り返し再生のオールリピートモードの切り換えに使用します。
- ⑰ EDIT/ SPACEキー - [30]
EDIT:
: 編集モードのオン/オフをします。
SPACE:
: タイトル入力の際、1文字ぶんの空白を挿入します。
- ⑱ DELETEキー - [44]
: タイトル編集の際文字の削除や、トラック編集の際トラック番号の取り消しに使用します。
- ⑲ AUTO/MANU.キー
録音の際、トラック番号を自動で付ける(AUTO)か、後で手で付ける(MANU.)かを選びます。
- ⑳ MONITORキー - [21]
: 停止中に、入力されたソースを聴くときに使用します。
- ㉑ 一時停止(II)キー
: 再生、録音の一時停止をします。
- ㉒ 録音(●)キー
録音をするときに使用します。
停止中:
: 録音可能なディスクが入っているとき、●キーを押すと、録音一時停止状態になります。
(現在録音されている最終トラックの後ろへの録音一時停止状態になります。)
録音一時停止中:
: ●キーを押すと、その場所から新しいトラックとして、録音をします。このときトラックが、"1"繰り上がります。
- ㉓ JOG DIAL (ジョグダイヤル) - [15] - [17] - [30]
スキップダウン(◀◀)/スキップアップ(▶▶)つまみ:
: 再生の際、スキップ(曲の飛び越し)として使用します。
: 録音の際、録音設定値調節モードを行います。
: タイトルサーチの際、トラック番号の選択に使用します。
: タイトル入力モードの際、トラック番号、文字の選択をします。
: 編集モードの際、編集モードやトラック番号の選択をします。
- ㉔ ENTERキー - [31]
: 編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使用します。
- ㉕ SETキー: - [30]
: 編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使用します。
- ㉖ REC MODE/CHARA. キー - [22] - [43]
REC MODE:
: 各種録音設定値調整モード(録音モード)のオン/オフをします。
CHARA.:
: タイトル入力の際、文字グループの選択をします。
- ㉗ PHONES端子
: ヘッドホン(別売)を接続します。
- ㉘ PHONES LEVELつまみ
: ヘッドホンの音量を調節します。

リモコン部

本リモコンは、基本操作およびいろいろな応用操作キーが収納されており、さまざまな用途にご利用できます。またリモコンを無くさぬように保管してください。

① 数字キー/文字群編集キー

数字キー

0-9 :

トラック番号をダイレクトに選択するときに使います。

+10 :

10以上のトラック番号を入力するときに使います。

+100 :

100以上のトラック番号を入力するときに使います。

タイトル編集のとき、文字や記号の選択にも使います。

CHARACTER DELETE/CLEARキー
CHARACTER DELETE :

タイトル入力するとき、文字を削除します。

CLEAR :

編集の時、入れ換えた曲の取り消しに使います。

プログラムを削除します。

CHARACTER SPACE/CHECKキー
CHARACTER SPACE :

タイトル入力するとき、1文字ぶんの空白を挿入します。

CHECK :

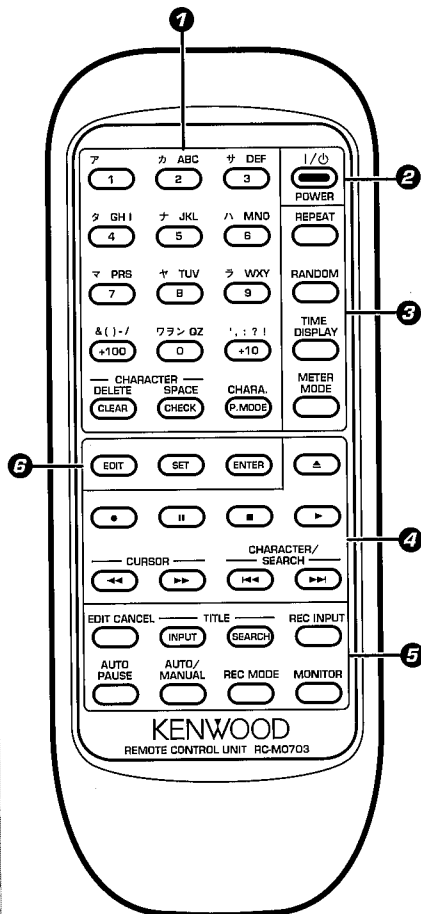
プログラム内容を確認します。

CHARA./P.MODEキー
CHARA. :

タイトル入力するとき、文字グループの選択に使います。

P.MODE :

プログラム再生するときに使います。



型名:RC-M0703

赤外線方式

⑤ 応用操作キー

EDIT CANCELキー

編集作業の取り消しに使います。

TITLE INPUTキー

タイトル入力モードのオン/オフをします。

TITLE SEARCHキー

タイトルサーチモードのオン/オフをします。

タイトル編集時、タイトル変更入力時の"上書きモード"、"挿入モード"の切り換えをします。

REC INPUTキー

録音入力のデジタル(オプティカル/コアクシヤル)、アナログ、モノラルのいずれかに切り換えします。

AUTO PAUSEキー

再生中に、トラック番号が変わったところで一時停止ができます。

AUTO/MANUALキー

録音のとき、トラック番号を自動で付ける(AUTO)か、後で手動で付ける(MANUAL)かを選びます。

REC MODEキー

各種録音設定値調整モード(録音モード)のオン/オフをします。

MONITORキー

停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

② ON/STANDBYキー

電源のオン(1)/スタンバイ(0)を切り換えます。

③ 表示関連/REPEATキー

REPEATキー

繰り返し再生のオールリピートモードの切り換えに使います。

RANDOMキー

ランダム再生をするときに使います。

TIME DISPLAYキー

時間およびタイトル表示のモードを切り換えます。

METER MODEキー

レベルメーター表示の内容を切り換えます。

④ 基本操作キー

- ▲ : イジェクトキー
- : 録音キー
- II : 一時停止キー
- : 停止キー
- ▶ : 再生キー
- ◀▶ : 飛び越しキー

CURSOR / ◀▶ キー

◀▶ : 再生のとき、早送り、早戻しキーとして使います。

CURSOR :

タイトル入力時は、カーソルの移動に使います。

CHARACTER/SEARCHキー
CHARACTER :

タイトル入力するとき、文字グループの選択に使います。

SEARCH :

再生のとき、スキップ(曲の飛び越し)として使います。

⑥ 編集モードキー

EDITキー

編集モードのオン/オフをします。

SETキー

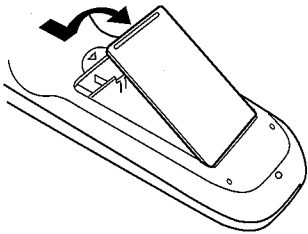
編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。

ENTERキー

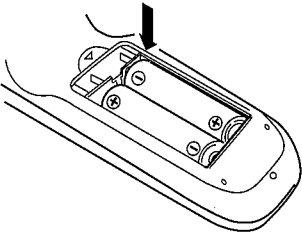
編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。

電池の入れかた

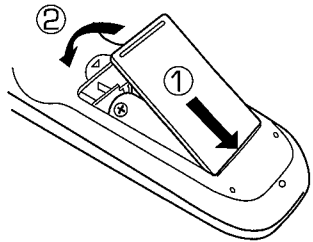
1 ふたを開ける



2 電池を入れる



3 カバーを閉める

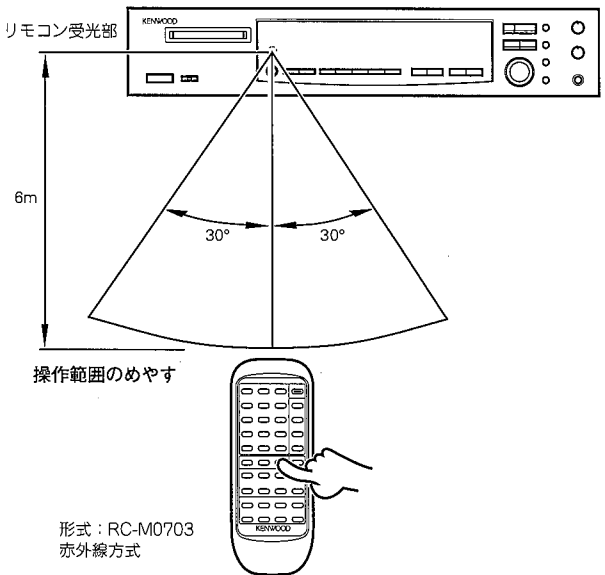


●単3乾電池(R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の^{パワー}POWERキーをオンにしてからリモコンの^{オン}"ON/STANDBY"^{スタンバイ}キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

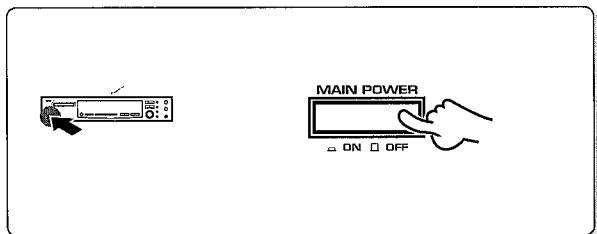
MDを再生する前に

タイマー
TIMER スイッチをオフにする。

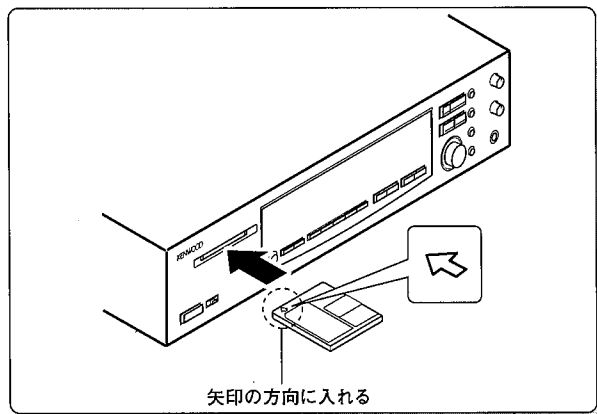


1 曲目から順に聴く

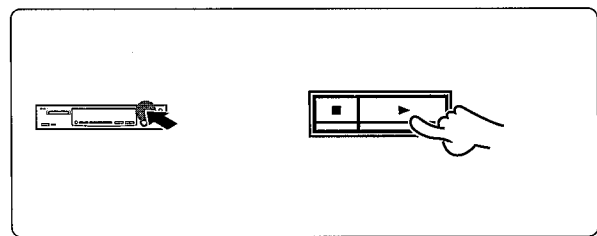
1 電源を入れる



2 ミニディスクを入れる



3 再生を始める



モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、「モノラル長時間モード」で録音されたミニディスクも再生できます。「モノラル長時間モード」の場合、同じ録音時間内容がステレオモード時の半分のデータ量となるため、再生時間(録音時間)はステレオモード時の2倍(最大148分)になります。

- 「モノラル長時間モード」で録音したミニディスクは、モノラル再生対応をしていない機器では、正常に再生ができません。

NO DISC

ミニディスクが入っていないとき

- 「-STANDBY-」と表示したときは、リモコンのON(|)/STANDBY(⊕)キーを押して電源をいれてください。

- ミニディスクを本機の挿入口へ、確実に差し込んでください。
- 「READING」が点滅して、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

L 00 40 30 20 10 18 10 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
SINGLE 001 0:00

- 「PGM」表示が点灯しているときは、リモコンのCHARA./P.MODEキーを押して消灯させてください。

- 数秒後に、1曲目から再生します。

L 00 40 30 21 11 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
SINGLE 001 4:12

再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

準備しましょう

- ① MDを停止する。
- ② トラックモードにする (PGM消灯)



聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

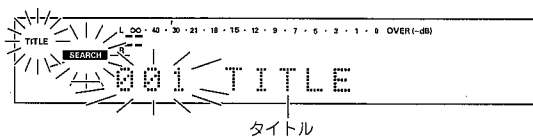
タイトルサーチ

1 TITLE SEARCHキーを押す

タイトルサーチ



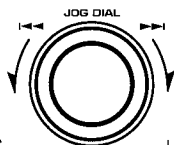
もう一度タイトルサーチキーを押すと、トラックナンバー選択モードが解除します。



タイトル

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"....."が表示されます。
- 停止中でも、再生中でも可能です。

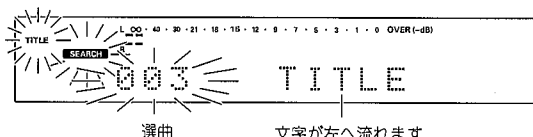
2 聴きたい曲名 (タイトル) を選ぶ



トラック番号が戻る

トラック番号が進む

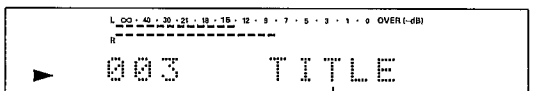
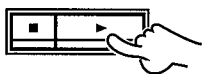
もう一度タイトルサーチキーを押すと、トラックナンバーが解除します。



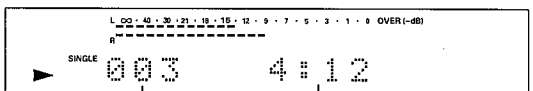
選曲

文字が左へ流れます

3 再生を始める



文字が左へ流れます



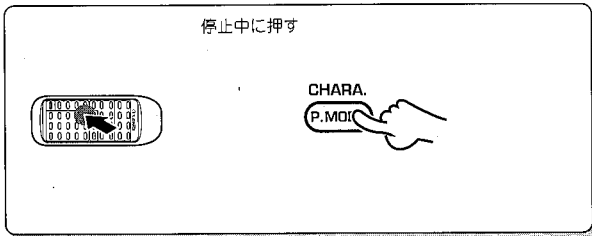
再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

- 数秒後に、再生します。

16 聴きたい曲を選ぶ

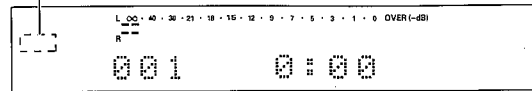
1 トラックモードにする



押すたびに切り換わります。

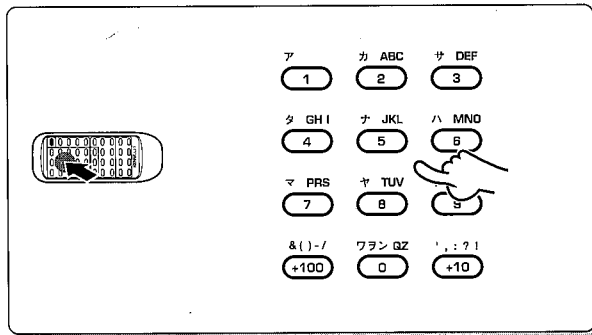
- ① トラックモード :PGM消灯
- ② プログラムモード :PGM点灯

"PGM"消灯



- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのキャラクター プレイモードCHARA./P.MODEキーを押して消灯させてください。

2 聴きたい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は...

- 23曲目 : **+10** **+10** **3** の順に押す
- 40曲目 : **+10** **+10** **+10** **+10** **0** の順に押す
- 212曲目 : **+100** **+100** **+10** **2** の順に押す

曲の途中でダイレクトに再生するには...

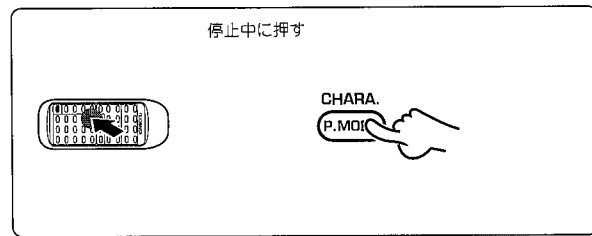
- 7曲目の前半を再生(7.2) : **7** **0** **2** の順に押す
- 7曲目の真ん中を再生(7.5) : **7** **0** **5** の順に押す
- 7曲目の後半を再生(7.8) : **7** **0** **8** の順に押す
- 再生中の真ん中を再生(.5) : **0** **5** の順に押す

- リーディング"READING"が点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

ランダム

RANDOM再生するには

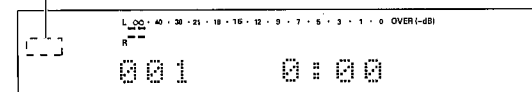
1 トラックモードにする



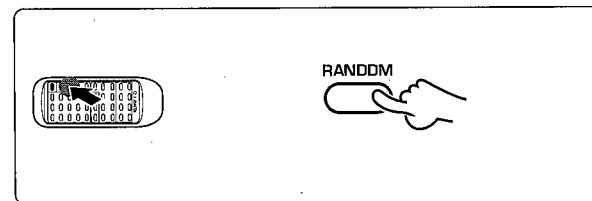
押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード :PGM消灯
- ② プログラムモード :PGM点灯

"PGM"消灯

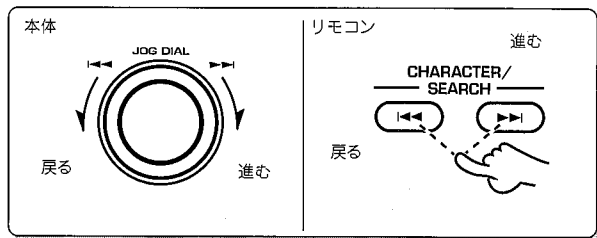


- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのキャラクター プレイモードCHARA./P.MODEキーを押して消灯させてください。

2 ランダム RANDOMキーを押す

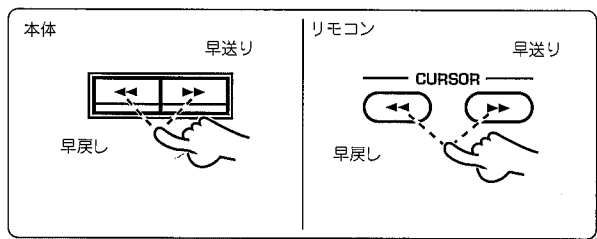
- プログラムモードでのランダム再生はできません。

曲を飛び越すには (スキップ)



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- 前曲の最初に戻るときは、再生中約2秒以内に◀◀キーを操作します。

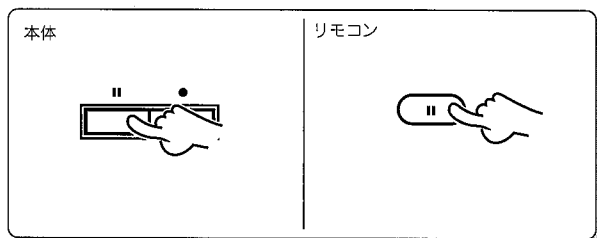
早送り・早戻しするには (サーチ)



- キーから手を離れたところから、再生します。(一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 再生一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラムモード時、早戻しをして曲のはじめまでくると、その曲を再生します。

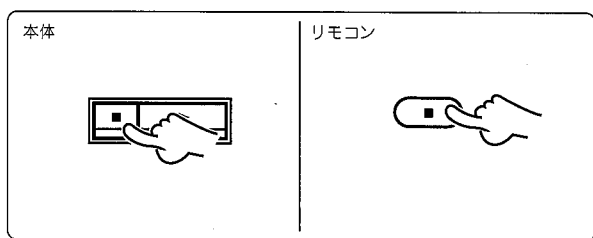
-18-

一時停止するには

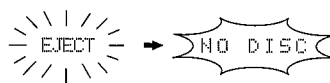
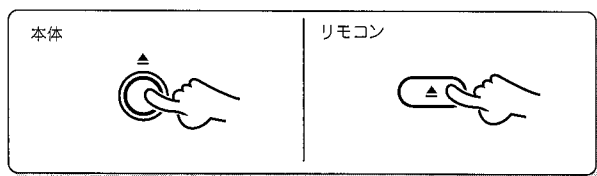


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



ミニディスクを取り出すとき

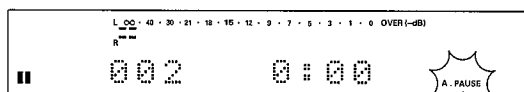
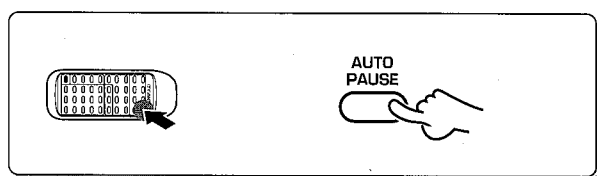


ミニディスク排出

オートポーズ

AUTO PAUSEキーについて

このキーを押すと、1曲再生終了ごとに一時停止します。
この機能は、語学のレッスンや各曲の後に間が欲しいときに便利です。



"A. PAUSE"点灯

- 再生するときは、▶キーを押します。
- 本機能を使用しないときは、必ずAUTO PAUSEキーを押して"A. PAUSE"の表示を消灯してください。

プログラムのしかた

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

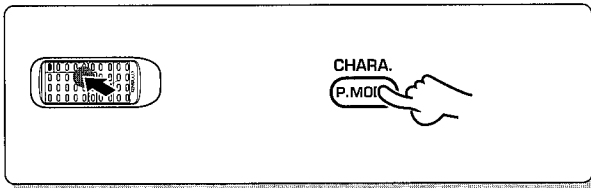
準備しましょう

- ① ミニディスクを入れる。
- ② MDを停止する。



曲順を自由にプログラムする

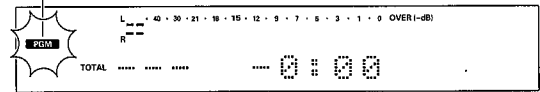
1 プログラムモードにする



押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"点灯



2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

① 聴きたい曲番号を、順に選ぶ

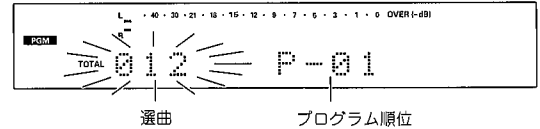
ア	カ ABC	サ DEF
1	2	3
タ GH I	ナ JKL	ハ MNO
4	5	6
マ PRS	ヤ TUV	ワ XYZ
7	8	9
&() - /	ワラン QZ	.:?!
+100	0	+10

② 確定する

手順①と②を繰り返して、希望の曲順に並べます。

数字キーを押す順序は...

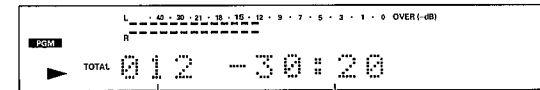
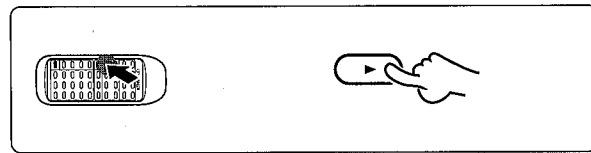
トラック番号12を選ぶとき: **+10** **2**, CHARA./P.MODEキーの順に押す。



- 32曲まで選べます。"FULL"と表示したときは、それ以上プログラムを受け付けません。
- 間違えたときはCHARACTER DELETE/CLEARキーを押してから、選直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、表示が"-*:*:*"になります。

- 表示点滅中にCHARA./P.MODEキーを押さないと入力中止されます。

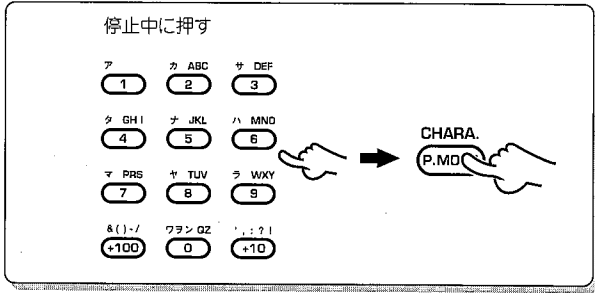
3 再生する



再生中のトラック番号 総プログラム曲の残り時間

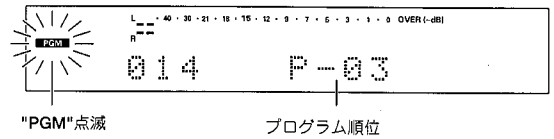
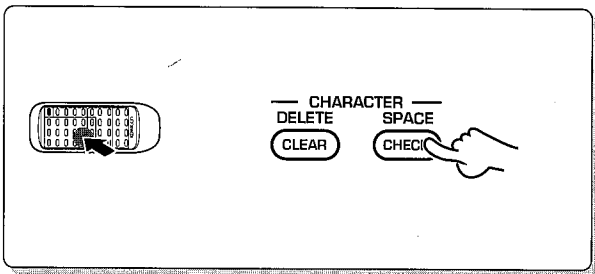
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには



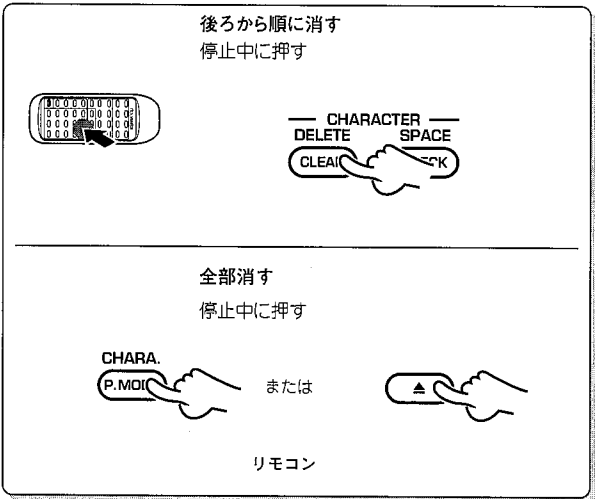
- 追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にCHARA./P.MODEキーを押さないと入力中止されます。

曲順を確かめるには

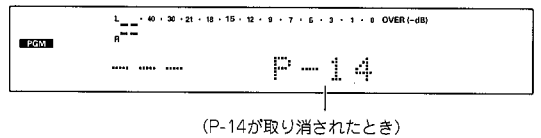


- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには



取り消された後の、最後のプログラムを表示



- プログラムの内容が、全部消えます。

プログラムした曲を繰り返し聴くことができます。

準備しましょう

MDを停止する。

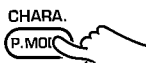


リピート 繰り返し聴く (REPEAT)

選んだ曲だけを繰り返すには

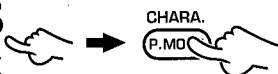
① 繰り返す曲を選ぶ

① プログラムモードにする



② 順に曲を選ぶ

ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PRS 7	ヤ TUV 8	ラ WXY 9
&()-/ +100	ワラン 0Z 0	':;?! +10



② 手順②を繰り返す

③ リピートモードにする



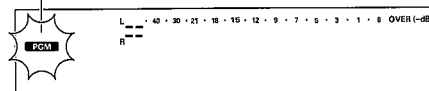
④ 再生する



押すたびに切り換わります。

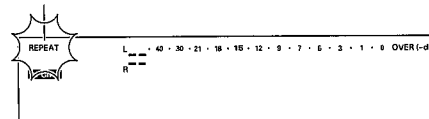
- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"点灯



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

"REPEAT"点灯



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(PGM)に従った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

① トラックモードにする



② リピートモードにする



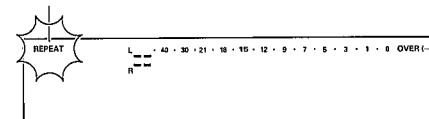
③ 再生する



押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"REPEAT"点灯



繰り返し再生をやめるには

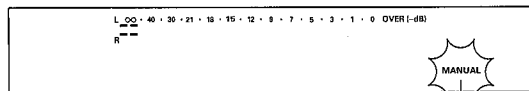
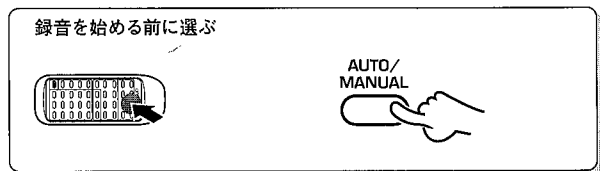
もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(トラック)に従った再生に戻ります。

オート マニュアル

AUTO/MANUALキーについて

録音時、トラック番号を自動的に付けて録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを切り換えます。
トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。



"AUTO" 時消灯、"MANUAL" 時点灯

AUTO:

録音するときに、音のない部分が2秒以上続いた後、次の音が入ってくると、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。通常の録音時はこのモードにしておきます。1枚のCD全曲を録音する場合、このモードにします。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラック番号が"1"繰り上がる場合があります。付いてしまったトラック番号は、後で削除します。このような音楽の場合は、MANUALで録音してください。
CDのデジタル録音のときは、デジタル信号の情報をもとに、トラック番号を自動的に"1"繰り上げます。無音の検出はしません。
CDのマニュアルサーチ中にトラック番号が繰り上がった場合、MDでは正しくトラック番号が繰り上がらない場合があります。
再生側のCDが停止すると、無音のトラックを作ることがあります。

MANUAL:

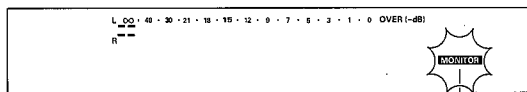
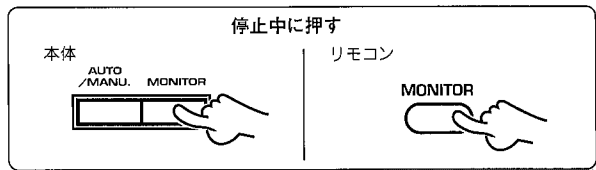
自動的にトラック番号を繰り上げない状態で録音します。録音中(EDITキーを押す)または録音後(トラック トラック デバインド DIVIDEを操作する(24)),トラック番号を付けることができます。
ライブ演奏や極端にレベルの低い音が続くクラシック音楽などのディスクを録音するときなどに便利です。

モニター

MONITORキーについて

停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

レック レック インプット デジタル INPUTがDIGITALの場合、その信号のサンプリング周波数(48kHz、44.1kHz、32kHz)の表示をします。



"MONITOR"点灯

録音関係の設定調整モード表示を選択し、各種設定値の調整ができます。

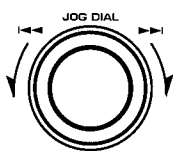
レック モード REC MODEキーについて

微調整の設定のしかた

① "REC MODE"をオンにする



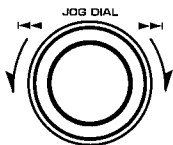
② 設定調整モードを選ぶ



③ 確定する



④ 調整する



続けて他の設定を変更したい場合は、SETキーを押します。

(手順③へ進みます。)

終了したいときは、REC MODEキーを押します。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン ("AUTO TIME?"表示)

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① AUTO TIME? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- ② AUTO LEVEL? : AUTO TNOの無音検出レベルの設定
- ③ REC → WRITING? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

●手順②で選んだ"設定調整モード"の設定内容を手順④で変更します。

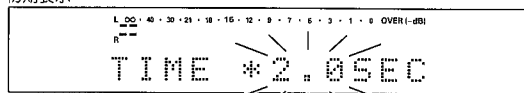
オート タイム

"AUTO TIME ?"表示を選択の場合

(アナログ録音時に有効です。)

"AUTO TIME ?"表示のとき、^{セット}SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出時間設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ/ダウンキーで無音検出時間を設定することができます。
初期設定は"TIME *2.0SEC"となり、0.5秒ステップで0.5から4.0秒までの時間が設定できます。

初期表示



調整値表示



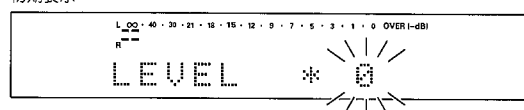
オート レベル

"AUTO LEVEL ?"表示を選択の場合

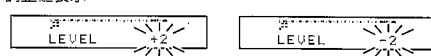
(アナログ録音時に有効です。)

"AUTO LEVEL ?"表示のとき、^{セット}SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出レベル設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ/ダウンキーで無音検出レベルを設定することができます。
初期設定は"LEVEL *0"となり、+2から-2までのレベルが設定できます。

初期表示



調整値表示

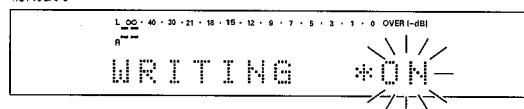


レック ライティング

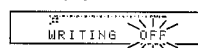
"REC→WRITING ?"表示を選択の場合

"WRITING"とは、ミニディスクに情報を書き込んでいる状態をいいます。
"REC→WRITING ?"表示のとき、^{セット}SETキーを操作すると"書き込みモード"の設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ/ダウンキーで録音終了時の^{オート}UTOC書き込みのオン/オフを設定することができます。
初期設定は"WRITING *ON"となります。

初期表示



調整値表示



使用例:

- オンのとき: 通常録音 (CDからMDなど) に使います。
- オフのとき: 短い音楽やチューナーからの放送録音時、WRITING動作に入らないので即座に録音することができます。

録音のしかた (ANALOG)

オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音しています。(以後、アナログ録音と呼びます。)



- 準備しましょう**
- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 → 4
 - ② ミニディスクを入れる。
 - ③ 録音可能時間を確かめる。 → 47
 - ④ アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

アナログ


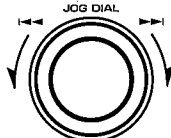
ANALOG録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき



① **レック モード** "REC MODE"をオンにする

② 設定調整モードを選ぶ

③ 確定する

設定調整不要の場合は、手順②へ進みます。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン ("AUTO TIME?"表示)



ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① AUTO TIME? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- ② AUTO LEVEL? : AUTO TNOの無音検出レベルの設定
- ③ REC → WRITING? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

●設定調整モードの詳細は、"REC MODEキーについて"を参照してください。 → 22

2 "ANALOG"または"MONO"を選ぶ

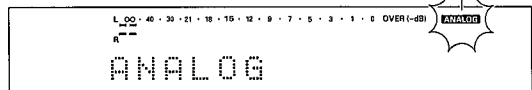
① **アナログ モノ** "REC INPUT"を選ぶ

押すたびに切り換わります。

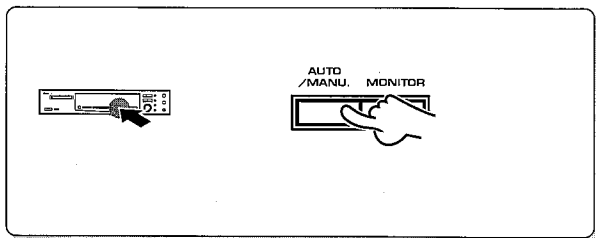
- ① ANALOG : アナログ "ステレオモード"
- ② DIGITAL 1 : OPTICALモード
- ③ DIGITAL 2 : COAXIALモード
- ④ MONO : アナログ "モノラル長時間モード"

"ANALOG"点灯



- 録音の一時停止中は、MONOには切り換わりません。
- MONOの一時停止中は、REC INPUT切り換えはできません。
- アナログ"モノラル長時間モード"で録音すると、ステレオで録音したときの約2倍の時間を録音することができます。

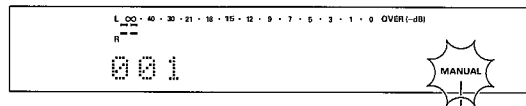
3 "AUTO"または"MANUAL"にする



押すたびに切り換わります。

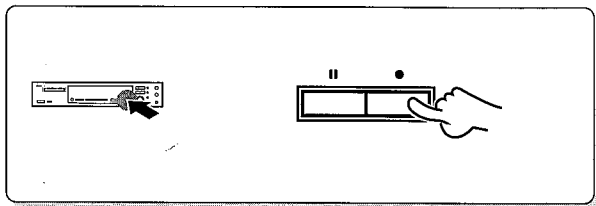
- ①消灯 (AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき
- ②MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき

→ 21
→ 21



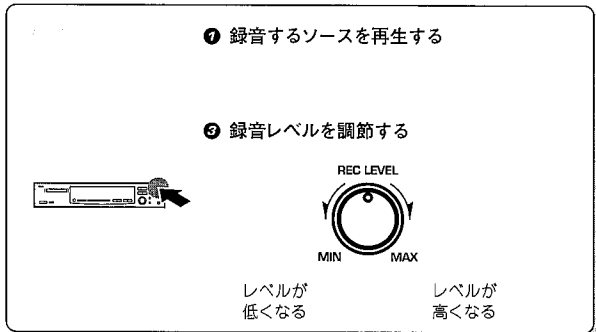
"AUTO"時消灯、"MANUAL"時点灯

4 録音一時停止にする



- キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

5 録音レベルを調節する (本体のみ)

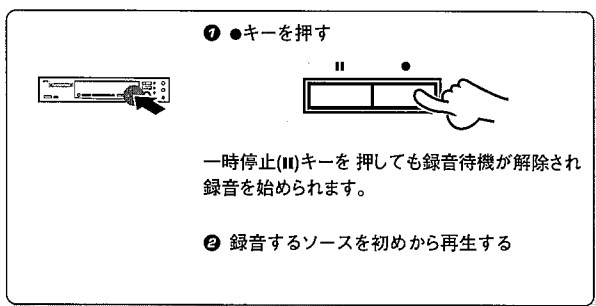


① 録音するソースを再生する

② 録音レベルを調節する

- レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下けてください。

6 録音を始める



① ●キーを押す

一時停止(II)キーを押しても録音待機が解除され録音を始められます。

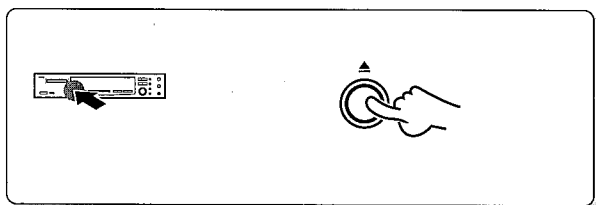
② 録音するソースを初めから再生する

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている
→ 不要な曲を消す。 → 38 → 40
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている
→ 閉める。 → 4
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである
→ 録音用ミニディスクを入れる。 → 6

- 録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられません。

7 録音終了後、ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中 ミニディスク排出

- 録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。

"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

録音のしかた (DIGITAL)

録音用ミニディスクを使用して録音することができます。本機がCDプレーヤー等のデジタル出力を持った機器と、デジタルコードまたは光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子より入力された信号をデジタルの状態での録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

準備しましょう

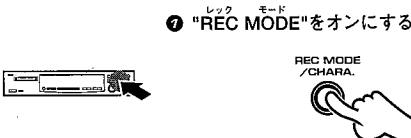
- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 → 4
- ② ミニディスクを入れる。
- ③ 録音可能時間を確かめる。
- ④ アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。 → 47

デジタル

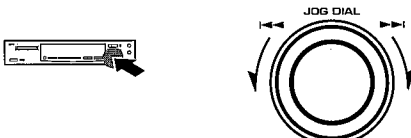
DIGITAL録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき


① "REC MODE"をオンにする



② 設定調整モードを選ぶ



③ 確定する



設定調整不要の場合は、手順②へ進みます。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン("AUTO TIME?"表示)


ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① AUTO TIME? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- ② AUTO LEVEL? : AUTO TNOの無音検出レベルの設定
- ③ REC → WRITING? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

● 設定調整モードの詳細は、"REC MODEキーについて"を参照してください。 → 22

デジタル

2 "DIGITAL 1,2"のいずれかを選ぶ




押すたびに切り換わります。

- ① ANALOG : アナログ"ステレオモード"
- ② DIGITAL 1 : OPTICALモード
- ③ DIGITAL 2 : COAXIALモード
- ④ MONO : アナログ"モノラル長時間モード"

オート

マニュアル

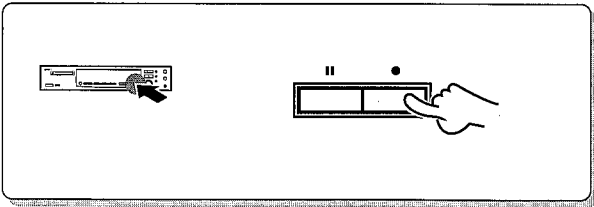
3 "AUTO"または"MANUAL"にする



押すたびに切り換わります。

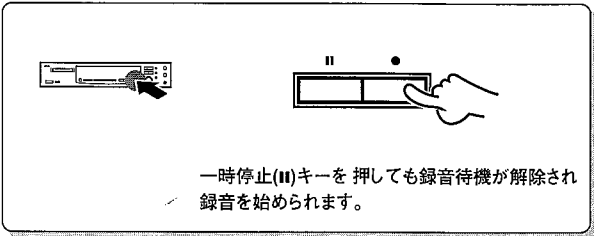
- ① 消灯 (AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき → 21
- ② MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき → 21

4 録音一時停止にする



- キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

5 録音を始める



一時停止(II)キーを押しても録音待機が解除され録音を始められます。

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

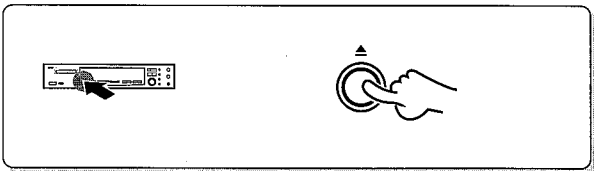
ディスクフル "DISC FULL"	:ミニディスクが一杯になっている。 →不要な曲を消す。 →(38)~(40)
アンロック "001 UNLOCK"	:デジタルコードまたは光ファイバーケーブルが外れているか、不完全である。(接続されていない) →デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 →(8)
オン "001 SCMS ON"	:SCMSによってデジタル録音禁止になっている。 →アナログ録音にする。 →(24)
ノートオーディオ "001 NotAudio"	:入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。 →アナログ録音にする。 →(24)
プロテクト "PROTECTED"	:誤消去防止つまみが開いている。 →閉める。 →(4)
プレイオンリー "PLAY ONLY"	:再生専用ミニディスクである。 →録音用ミニディスクを入れる。 →(6)

- 録音中に^{エディットスペース}EDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。
- トラック番号(001)の表示は、録音を一時停止したときのトラックを表示しています。
- 録音中に一時停止をしたとき、再び録音を開始すると、トラック番号は"1"繰り上がります。

6 録音したいソースを再生する

- 曲の初めから余裕をもって録音するには、MDレコーダーの時間表示が動き始めてから、録音したいソースの再生を始めてください。

7 録音終了後、ミニディスクを取り出す



- 録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。

^{ライティング}
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

CDとのシンクロ録音のしかた

ケンウッド製のシステムコントロール端子の付属した"SL16"タイプのアンプおよびCDプレーヤーと本機をシステムコントロールコードで接続されていると、本機とCDプレーヤーを同時にスタートさせることができます。

- ① アンプの入力切り換えをCDにする
- ② CDを一時停止にする
- ③ CDの録音したい曲を◀◀、▶▶キーで選ぶ
- ④ MDレコーダーを録音一時停止にする
- ⑤ CDの再生を始める

録音をやめるには

■キーを押してから、▲キーを押します。

デジタル

DIGITAL録音とSCMSについて

ミニディスクでは、下記の条件において、デジタル録音することはできません。

コピー禁止コードが付いているとき、"001SCMS ON"と表示して録音一時停止になります。
(トラック番号"001"を録音中にコピー禁止になった場合)

サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

- 48 kHz :DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1 kHz :DATの標準モード、CD、MD等。
- 32 kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できませんが、本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、48 kHz、32 kHzのデジタル信号はMDのサンプリング周波数(44.1kHz)に変換して、録音することができます。

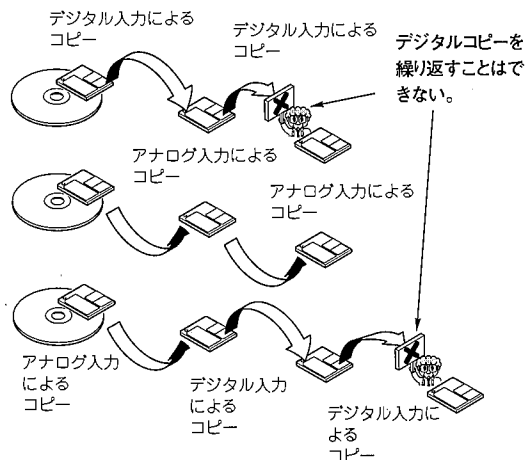
衛星放送によっては、SCMSが働くことがあります。

デジタル オーディオ テープデッキ

(DAT:Digital Audio Tapedeck)

シリアル コピー マネージメント システム SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。
("PGM"表示点灯のときは、編集できません。)

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認くださいませようお願いします。
- 39

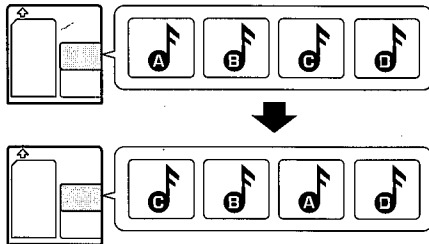
本機で編集中は、サイバータイ틀ー (CT-G90別売またはCT-H90別売) からのタイトル転送はできません。

編集機能のタイプを選ぶ

曲の入れ換え

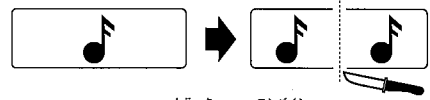
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE) - 30

曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE) - 32

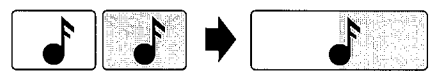


曲の分割と結合

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE) - 34

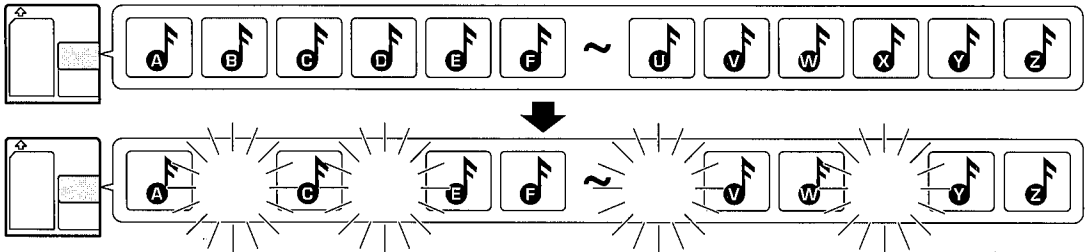


再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE) - 36

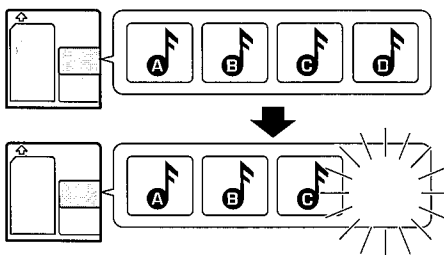


任意の曲の消去 (QUICK ERASE)

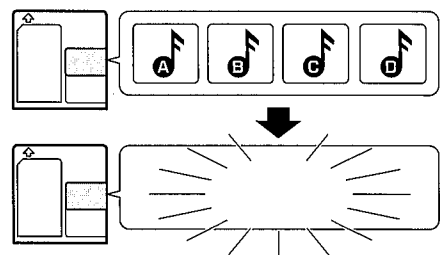
任意の曲を消す (QUICK ERASE) - 40



再生中の曲を消す (TRACK ERASE) - 38



全曲消す (ALL ERASE) - 40



タイトル編集のしかた

- 42

ミニディスクや曲にタイトルをつけたり、タイトルを変更、消去することができます。

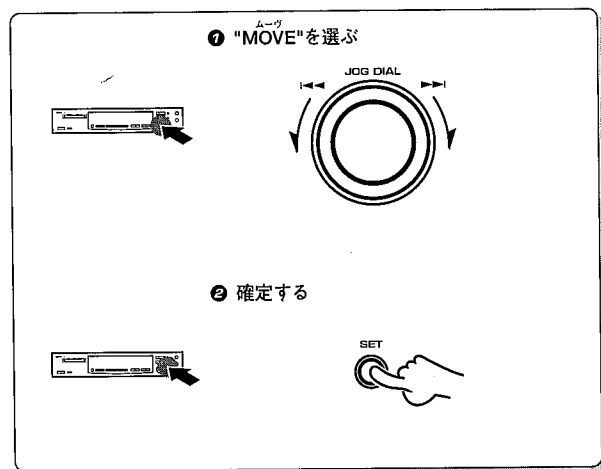
移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

準備しましょう

- ① MDを再生する。
- ② EDIT/SPACEキーを押す、編集モードをオンにする。

再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE)

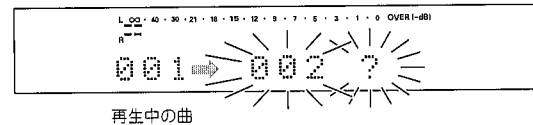
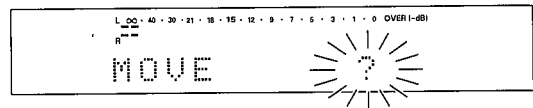
1 "MOVE"を選ぶ



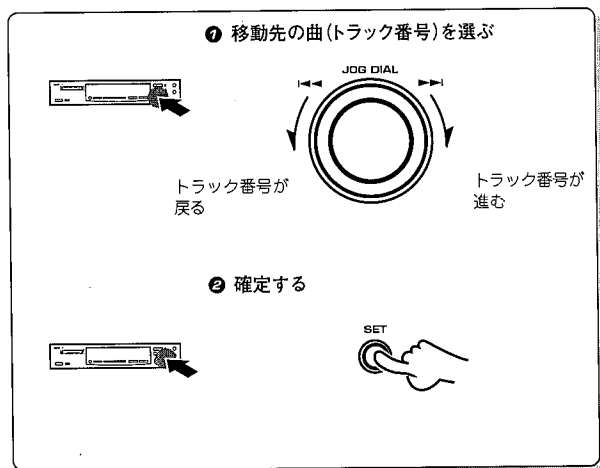
ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE? : 曲を分ける
- ② COMBINE? : 曲をつなぐ
- ③ ERASE? : 曲の消去
- ④ MOVE? : 曲順を入れ換える

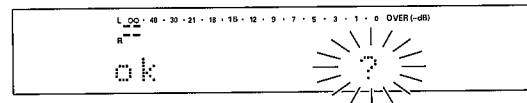
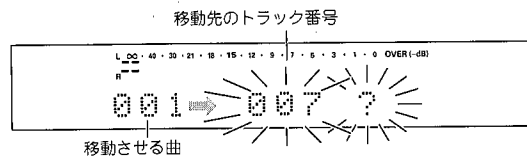
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



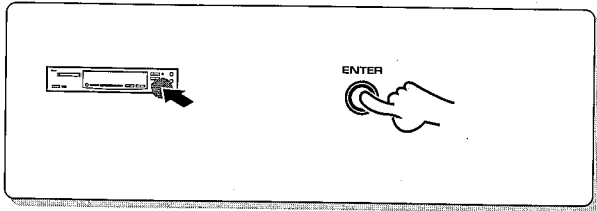
2 移動先の曲を選ぶ



移動例:1曲目を7曲目にする。



3 曲順の入れ換えを実行する



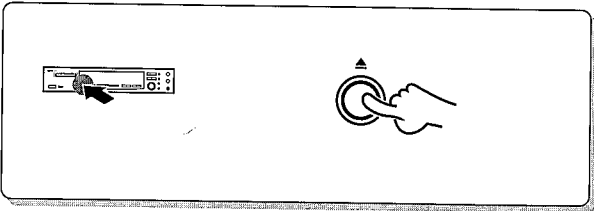
実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集
コンプリート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

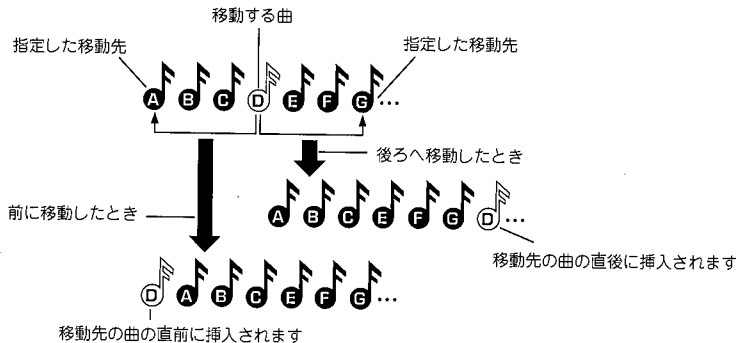
- 31

4 ミニディスクを取り出す



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

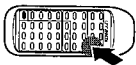
曲を移動するイメージ



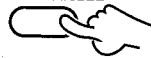
編集した内容を取り消すとき(EDIT CANCEL)

エディット キャンセル

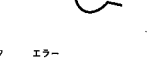
ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れた状態に戻すことができます。取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。



EDIT CANCEL



SET



ENTE



- 録音作業後、および"DISC ERROR"表示後の編集は、取り消しができませんのでご注意ください。

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

準備しましょう

- ① MDを停止する。
- ② EDIT/SPACEキーを押す、編集モードをオンにする。

1回の処理で入れ換えられるのは、連続する255曲の範囲です。

クイックムーブ
曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

クイックムーブ
1 "Q. MOVE"モードを選ぶ

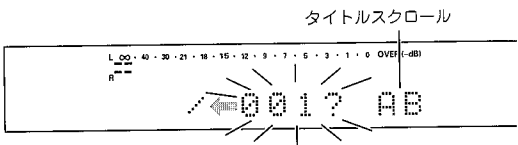
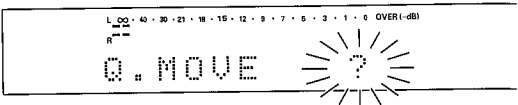
クイックムーブ

① Q. MOVEにする

② 確定する

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① Q. MOVE? : 曲をまとめて入れ換える
- ② Q. ERASE? : 曲をまとめて消去



- 中止するときは、もう一度EDIT/SPACEキーを押します。
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

2 移動したい曲を選ぶ

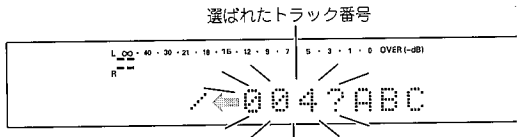
① 曲(トラック番号)を選ぶ

トラック番号が戻る

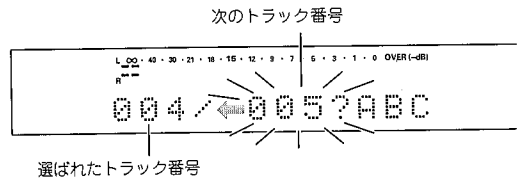
トラック番号が進む

② 確定する

手順①と②を繰り返して、移動したい曲を選びます。



- DELETEキーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやなおしてください。)
- ◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲順の確認ができます。



3 移動したい曲の選択を終了する

4 移動先を決める

① 移動先の曲を選ぶ

トラック番号が戻る

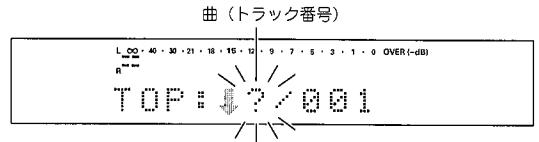
JOG DIAL

トラック番号が進む

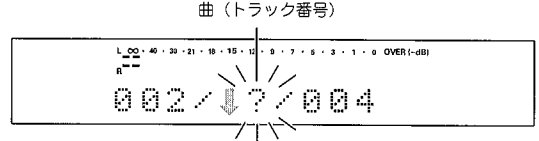
② 移動先を確定する

SET

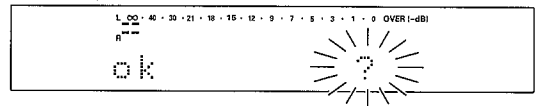
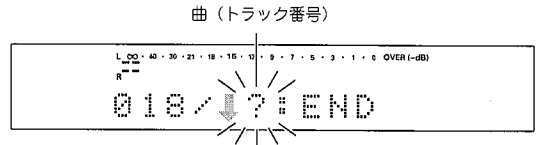
トラック番号の最初に移動したとき:



トラック番号の間に移動したとき:



トラック番号の最後に移動したとき:



5 曲順の入れ換えを実行する

ENTER

実行後の表示

- EDIT NOW! :編集集中
- COMPLETE! :編集完了
- CAN'T EDIT :編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 並べ換えの途中でENTERキーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後に、そのままの曲順で移動します。
- 表示が "COMPLETE !"点灯中に、▲キーやPOWERキーを押すと、並べ換えが途中で中断されることがあります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

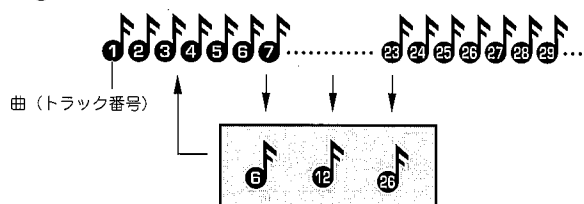
6 ミニディスクを取り出す

EJECT



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ換えるイメージ



曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビューを使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整ができます。

準備しましょう

- MDの分割したい曲を再生する。
- EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認くださいませようお願いします。

- 49

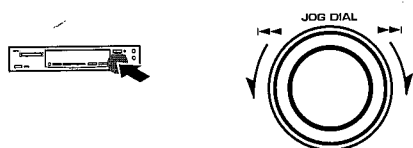
再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)

トラック ディバイド

1 "DIVIDE"を選ぶ

ディバイド

① "DIVIDE"を選ぶ



② 確定する



プレビューをしないときは、一度ENTERキーを押して("ok?"と表示)から手順②へ進みます。

2 プレビューをするとき

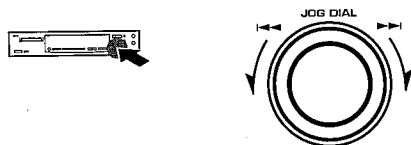
① 分割モードにする



② プレビューの実行



③ 分割の微調整をする



④ 分割点を確定する



ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- DIVIDE ? : 曲を分ける
- COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ERASE ? : 曲の消去
- MOVE ? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (←DB)
DIVIDE ?

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (←DB)
003 <> 004 ?

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (←DB)
DIVIDE+ 00

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (←DB)
PREVIEW 2SEC

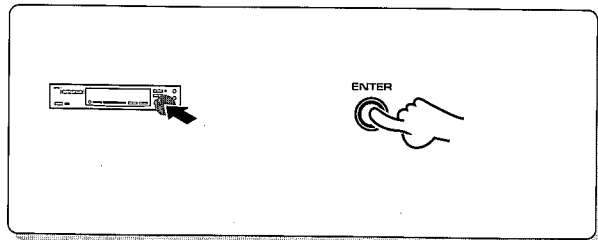
- 分割点の最初の3秒を繰り返します。
- 曲の最後のところでプレビューをすると、次の曲(最終曲の場合は1曲目)へと続けてプレビューしますが、次の曲に入ったところでは、ディバイドきません。

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (←DB)
DIVIDE+ 04

- 音を聴きながら、微調整ができます。
- 分割点の微調整は、始めにEDIT/SPACEキーを押したところから後に、60mS(6/100秒)単位で32ステップ可能です。分割したいところより、少し手前で操作してください。

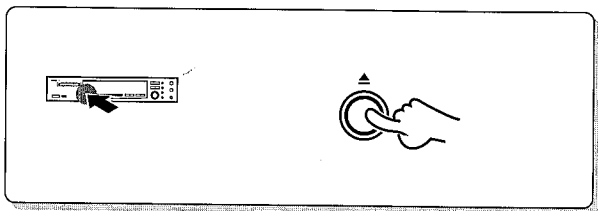
L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (←DB)
ok ?

3 曲の分割を実行する



手順①~②を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

4 ミニディスクを取り出す



実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集
コンプリート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無録音部分がありません。
- MDの規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- (3)



情報を書き込み中

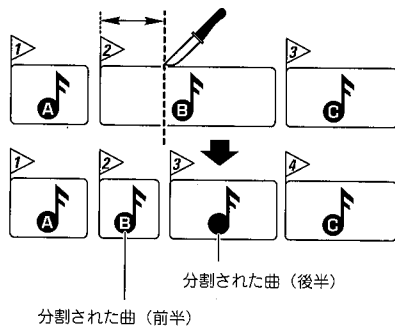
ミニディスク排出



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

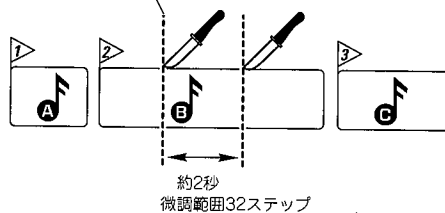
曲を分割するイメージ

約2秒以上必要



プレビューのイメージ

EDIT/SPACEキーを押したところ



約2秒
微調範囲32ステップ

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

準備しましょう

- ① MDのつなぎたい曲を再生する。
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

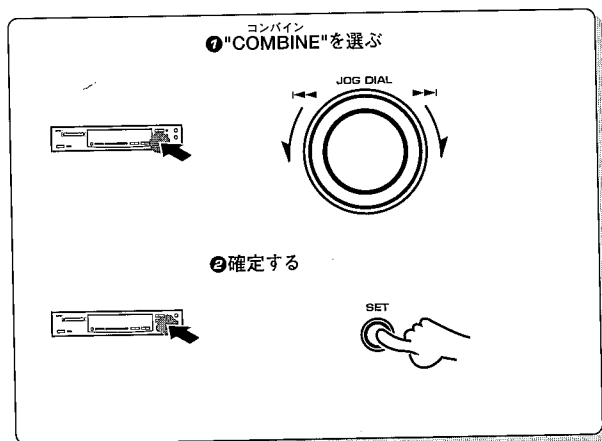
MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認くださいませようお願いします。

-49

再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

1 再生中、次の曲とつなぐとき



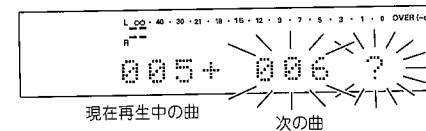
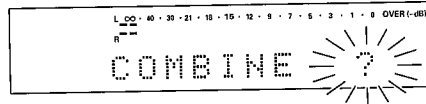
再生中に、次の曲とつなぐ場合は手順②へ進みます。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

再生中:

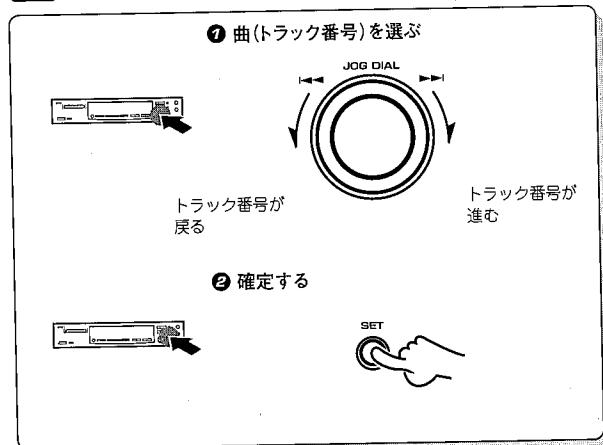
- ① DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ ERASE ? : 曲の消去
- ④ MOVE ? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

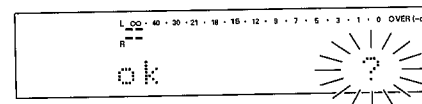
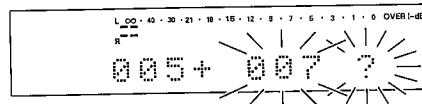


- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、前半となる曲の再生中 EDIT/SPACEキーを押してください。(再生中の曲と、直後の曲がつなります)
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

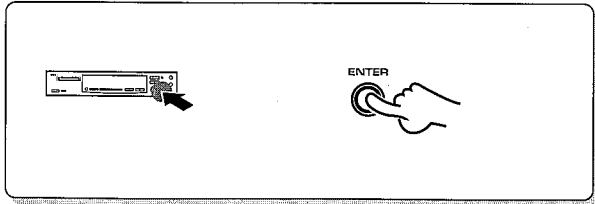
2 つなぎたい曲を選ぶとき



5曲目と7曲目をつなぐ場合:



3 曲と曲の結合を実行する



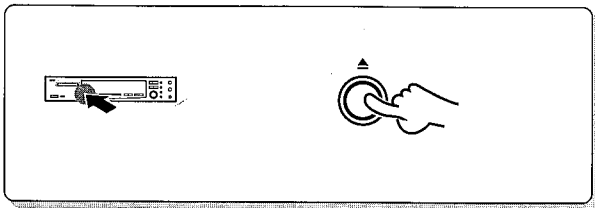
実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集中
コンプリート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセル エディット
CAN' T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中に編集を始めた場合は、その曲で一時停止になります。
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

→ 31

4 ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中

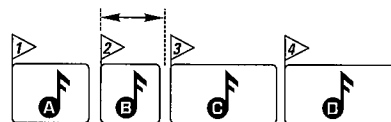
ミニディスク排出



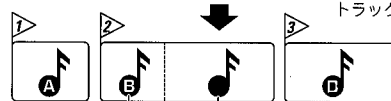
ライティング
" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

約2秒以上必要



トラック番号が調整される



後半部のトラック番号とタイトルは消える

前半部のトラック番号とタイトルが残る

再生中にその曲のみ消去することができます。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

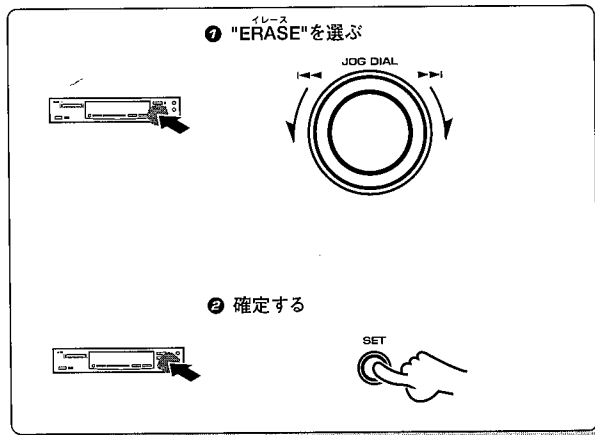
準備しましょう

- ① MDを再生する。
エディット イレース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

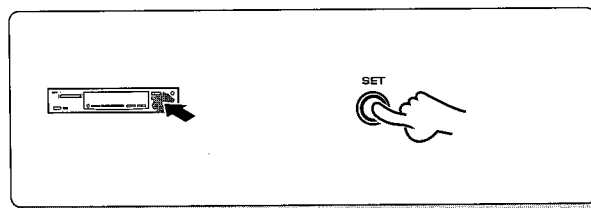
トラック イレース

再生中の曲を消す (TRACK ERASE)

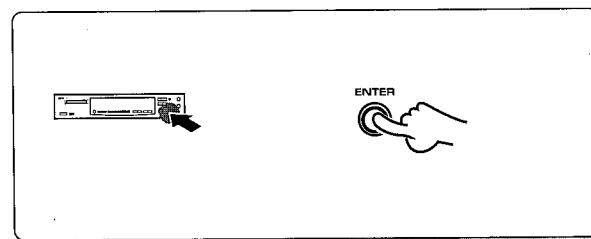
1 "ERASE"を選ぶ



2 消去の確認



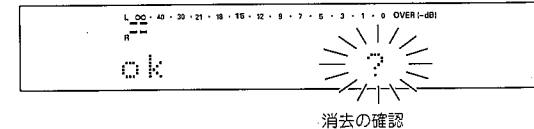
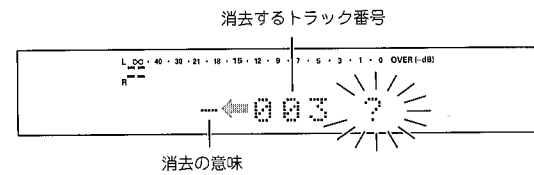
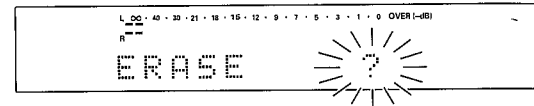
3 消去を実行する



ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① ディバイド DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② コンビイン COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ ERASE ? : 曲の消去
- ④ ムーブ MOVE ? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

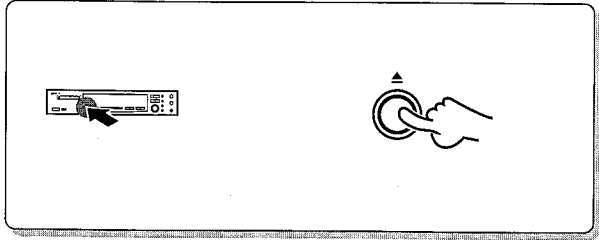


実行後の表示

- エディット EDIT NOW ! : 編集中
コンプリート COMPLETE ! : 編集完了
キャンセル エディット CAN'T EDIT : 編集不完全

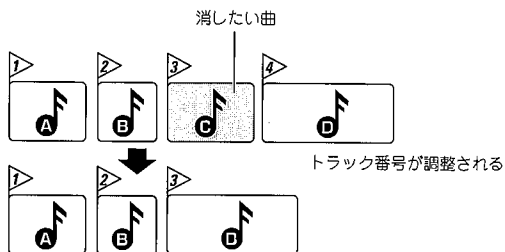
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 誤って実行をした場合は、"エディット キャンセルEDIT CANCEL"の操作をすると編集前に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す



メ **モ** ライティング
 "WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

♪ 消したい曲のイメージ



停止中に、任意の曲を簡単に消去することができます。
消去すると元に戻れませんので、十分注意してください。

準備しましょう

- ① MDを停止する。
クイックイレイズ
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

クイック イレイズ
任意の曲を消す (QUICK ERASE)

1 全曲消去するとき

クイックイレイズ

- ① Q.ERASEモードを選ぶ
- ② 確定する
- ③ 確定する

全曲を消去する場合は、手順②へ進みます。

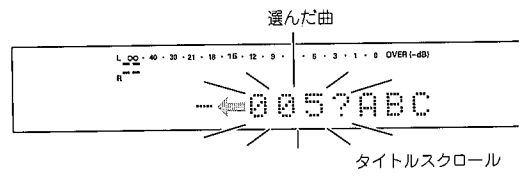
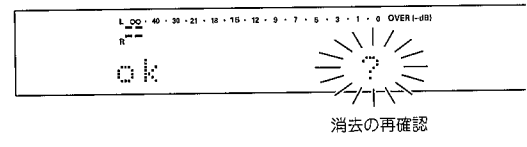
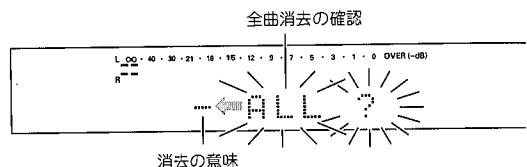
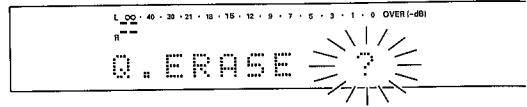
2 任意の曲を消去するとき

- ① 消すトラック番号を選ぶ
- ② 確定する

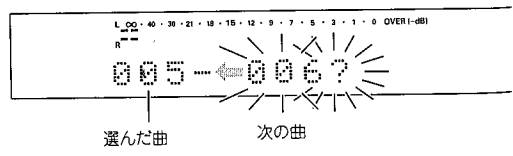
手順①から②を繰り返し、任意の曲を消去することができます。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

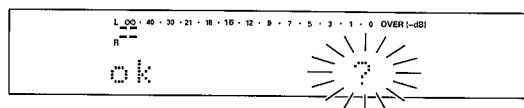
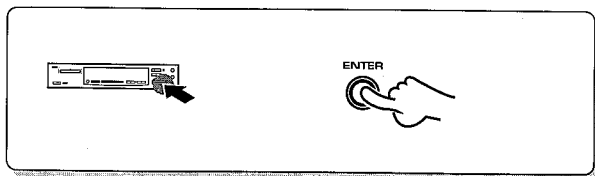
- ① Q. MOVE? : 曲をまとめて入れ換える
- ② Q. ERASE? : 曲をまとめて消去



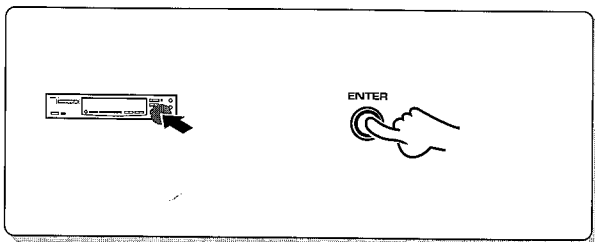
- DELETEキーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(その前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやなおしてください。)
- ◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲順の確認ができます。



3 消去したい曲の選択を終了する



4 消去を実行する



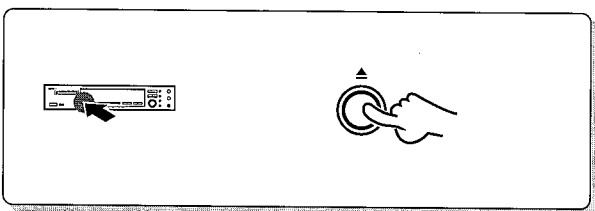
実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集中
コンプソート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセル、エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- [31]

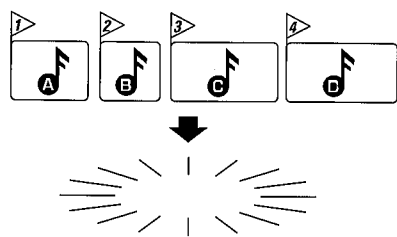
5 ミニディスクを取り出す



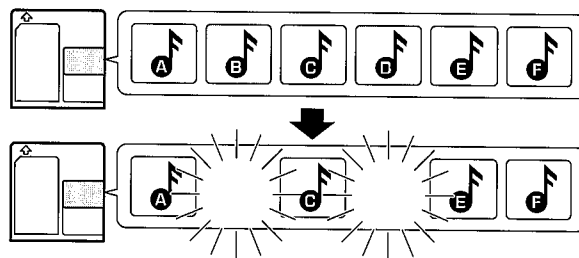
ライティング
" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

任意の曲の削除 (QUICK ERASE) イメージ

全曲を消去したとき:

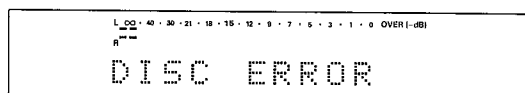


任意の曲を消去したとき:



ディスク エラー "DISC ERROR"表示をしたときは

正常なはずのミニディスクが、"DISC ERROR"表示になった時、"全曲消す (ALL ERASE)"の操作をする前に、もう一度ミニディスクを入れ直してください。正常にミニディスクの内容が読める場合があります。



- "DISC ERROR"表示後"ALL ERASE"操作は可能ですが、"EDIT CANCEL"はできません。

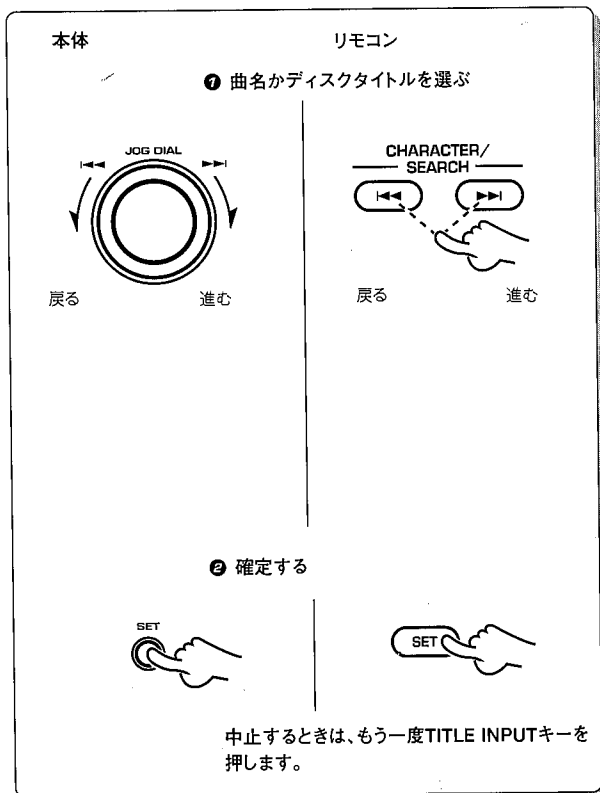
ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

準備しましょう

- ① MDを停止または再生する。
- ② **TITLE INPUT**キーを押し、タイトル入力モードをオンにする。

タイトル編集のしかた

1 変更したい項目を選ぶ



タイトルを入力するときは、手順②へ進みます。
 タイトルを変更または削除するときは、手順③へ進みます。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
 カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
 スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。

プリセットタイトルについて

良く使うタイトルやお好みのタイトルを、任意のプリセットタイトルに記憶しておくと、タイトル編集が簡単に行うことができます。
 お好みによりプリセットタイトル名の変更やミニディスクへそのタイトルを入力するには"タイトル編集のしかた"の操作で行います。
 初期設定は次の通りです。

PRE1:Pops、PRE2:Rock、PRE3:Classic、PRE4:Jazz、PRE5:Disco、
 PRE6:Best Hits、PRE7:Air Check、PRE8:No.、PRE9:Vol.、

●変更したプリセットタイトルを初期設定に戻すには、"マイコンをリセットするには"を参照してください。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

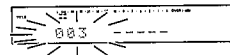
- ① DISC : ディスクタイトル
- ② 001 : トラックタイトル
- ③ PRE 1-PRE 9 : プリセットタイトル
- ④ ALL ERASE ? : ディスクとトラックの全タイトル消去

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

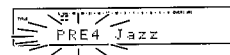
ディスクタイトルのとき:"DISC"を選びます。



トラックタイトルのとき:目的のトラック番号を選びます。



プリセットタイトルのとき:目的のプリセット番号を選びます。



ディスクとトラックの全タイトル消去のとき:



タイトル編集可能文字

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号(ASCIIコード)などを選ぶことができます。

英字の大文字26種類: ABCD~WXYZ

英字の小文字26種類: abcd~wxyz

数字10種類: 0123456789

スペース&記号25種類: !"#%&'()*+,-./:;<=>?@_`

カタカナ文字81種類: アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン

アイウエオヤユヨツ

ガキグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボウ

パピプペポー

カタカナの濁音、半濁音は本体のドット表示管には、2文字文使用して表示しています。

例: ケンウツト

2 タイトルを入力するとき

本体

リモコン

① 文字グループを選ぶ

REC MODE / CHARA.

CHARA. P.MOII

② 文字を選ぶ

ア 1 カ ABC 2 サ DEF 3
 タ GH I 4 ナ JKL 5 ハ MNO 6
 マ PRS 7 ヤ TUV 8
 & () - / ワラン OZ ' : ? ! 9
 +100 0 +10

および

CHARACTER / SEARCH

③ 文字を確定する

SET

SET

手順①～③を繰り返して、タイトルを入力します。

下記の文字グループを選ぶことができます。

- ① A～Zと、スペース(1文字分の空白)
- ② a～zと、スペース
- ③ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ)
- ④ カタカナと、スペース

ジョグつまみを操作するたびに切り換わります。

- ① A～Zと、スペース(1文字分の空白):

→ A → B → C → D → E → F → → X → Y → Z →

- ② a～zと、スペース:

→ a → b → c → d → e → f → → x → y → z →

- ③ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ):

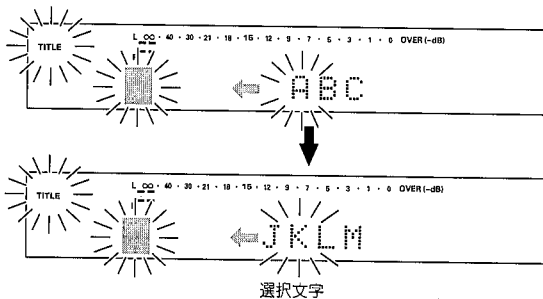
→ 0 → 1 → → 9 → → ! " → / → : → ; →
 PRE9 ← ← PRE1 ← _ ← @ ← ? ← ← ; ← - ←

- ④ カタカナと、スペース:

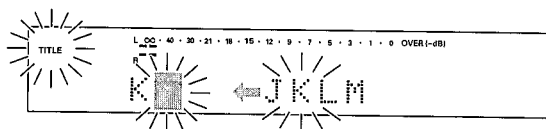
→ ア → イ → ウ → → レ → ロ → ワ → ラ → ン → ア → イ
 ← ← ← ポ ← ペ ← プ ← ← ガ ← ヲ ← ヴ ← ヨ ← ← ウ

新規にタイトル入力する例:

初期表示



- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。
 (例: [2] キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。)
- ◀、▶キーで、カーソルを左右に移動できます。
- タイトル入力するとき、TITLE SEARCHキーを押すと、「上書きモード」、「挿入モード」に切り換わります。

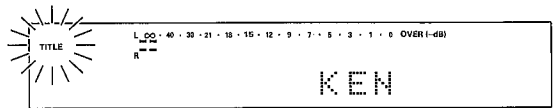
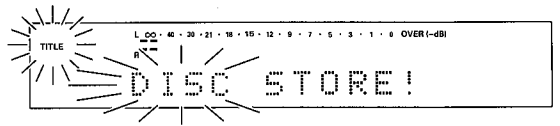
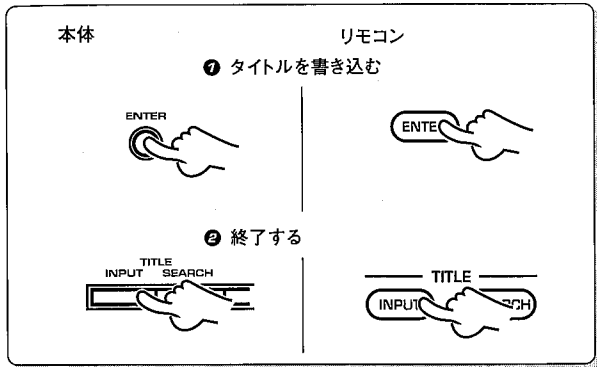


- EDIT/ SPACEキーで、1文字分のスペースを挿入することができます。



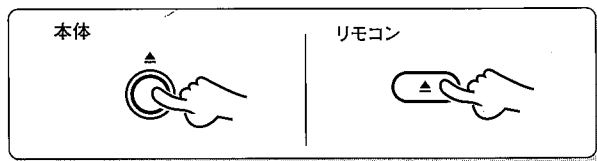
手順が次のページに続きます。

4 タイトルの編集を実行する



タイトルがスクロールする

5 ミニディスクを取り出す



ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集機能キーについて

CHARA.キー:

文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

マニュアルサーチ(◀▶)キー:

タイトル入力するとき、カーソルの移動ができます。

カーソルが (下半分のみ) のとき : 入力する文字はカーソルのある文字の前に入ります。

カーソルが のとき

: カーソルのある文字が新しく入力する文字に置き換えられます。

DELETEキー:

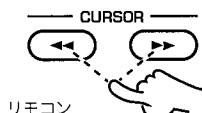
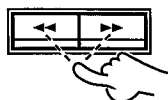
カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力すると)、簡単にタイトルを消去できます。

EDIT/SPACEキー:

カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力すること)もできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

表示部のスクロールについて

タイトルを入力しているなど、情報の量が多すぎて表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、◀▶キーを続けて操作していくと、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。



スクロールの例

表示される範囲 (全体を表示できない)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

スクロール→

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

←スクロール

サイバー・タイトラーを使うとき

DM-5090 (J)

46

本機に、サイバー・タイトラー(別売)を専用通信ケーブルで接続することにより、録音用MDへのタイトル入力からMDケースやカセットケースへのラベルプリントの作成ができます。

またMD録音中に離れた場所でのタイトルの打ち込みができ、そのデータを本機に転送し編集後、再びサイバー・タイトラーにデータを転送するなど、タイトル編集が双方向通信で行えます。

詳しくは、サイバー・タイトラー(CT-G90別売、およびCT-H90別売)の取扱説明書をお読みください。

但し、いずれも本機と漢字でのタイトル編集はできません。

本機で編集中は、サイバータイトラー(CT-G90別売またはCT-H90別売)からのタイトル転送はできません。

タイトル編集例

サイバー・タイトラーで、MDに貼るラベルを作るとき

- ① サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
または、MDからタイトルを読み込む。
- ② サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
- ③ サイバー・タイトラーでプリントする。
- ④ MDのケースにラベルを貼る。

サイバー・タイトラーで、MDにタイトルを入力するとき

- ① サイバー・タイトラーでディスクや曲のタイトルを入力する。
- ② サイバー・タイトラーとMDレコーダーをつなぐ。
- ③ サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
- ④ MDにタイトルが入力される。

サイバー・タイトラーでタイトル作成、MDレコーダーでタイトル編集、サイバー・タイトラーでラベルを作るとき

- ① サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
- ② サイバー・タイトラーとMDレコーダーをつなぐ。
- ③ サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
- ④ MDレコーダーで、タイトルを編集する。
- ⑤ MDレコーダーからサイバー・タイトラーへタイトルを送る。
- ⑥ サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
- ⑦ サイバー・タイトラーでプリントする。
- ⑧ MDのケースにラベルを貼る。

接続に使用するケーブルについて

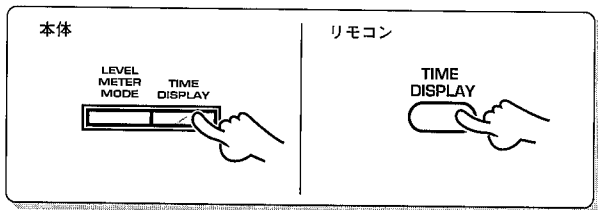
接続には、必ずサイバー・タイトラー付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものをご使用になると正しく動作しません。

また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器への電波障害を与えることがあります。

タイム ディスプレイ

TIME DISPLAY キーについて

時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

再生中/停止中

- ① SINGLE(+) シングル : 曲の経過時間
- ② SINGLE(-) シングル : 曲の残り時間
- ③ TOTAL(+) トータル : 曲の総経過時間
- ④ TOTAL(-) トータル : 曲の総残り時間 (停止中は、総曲数も表示)
- ⑤ REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間
- ⑥ TITLE タイトル : トラックタイトル表示(再生中)/ミニディスクタイトル表示(停止中)

録音中

- ① SINGLE(+) シングル : 録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL(+) トータル : 再生、録音の総経過時間
- ③ REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間

1曲も録音されていない場合

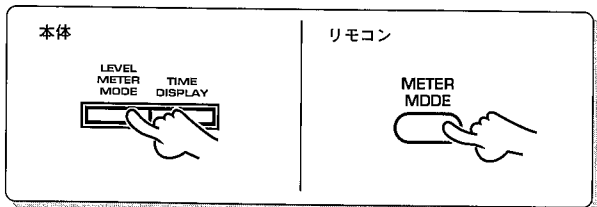
- ① SINGLE(+) シングル : "BLANK DISC"と表示(ディスクタイトルがある場合、"NO TRACKS"と表示)
- ② REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間
- ③ TITLE タイトル : ミニディスクタイトル表示

レベル メーター モード

LEVEL METER MODE キーについて

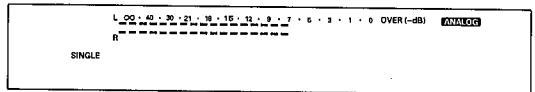
レベルメーターの表示内容をサイクリックに切り換えることができます。

1. ノーマル表示 : 0dB近辺のスケールが細かく設定してあるモード。通常録音(ロック)や再生(ポップス)に適したレベルメーターです。
2. ワイド表示 : 0dBから30dBまでほぼ等間隔にスケールが設定してあるモード。クラシックなどの微小レベルから高いレベルまでの激しい音楽を再生するのに適したレベルメーターです。

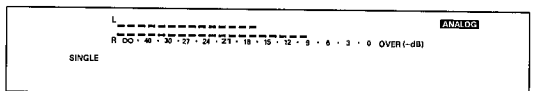


押すたびに切り換わります。

- ① ノーマル表示例 :




- ② ワイド表示例 :

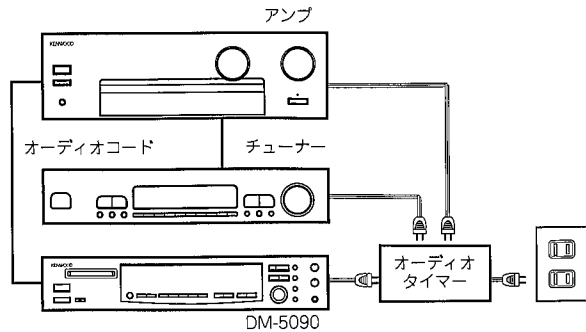


タイマーを利用して

48

市販のタイマーを利用して、好きな時刻に再生や録音をすることもできます。

各機器の電源コードは、タイマーを通して電源が入るように接続します。
使用するタイマーの取扱説明書をよくお読みください。
3日以上、電源が入らないようなタイマー録音設定はしないでください。最後の録音内容が消える場合があります。
"メモリーバックアップ" 



タイマー再生、タイマー録音


1 各機器の電源をONにする

2 準備をする

タイマー再生するとき

録音済みミニディスクを入れる

タイマー録音するとき

- ① 録音用ミニディスクを入れる
- ② 希望の放送局を受信する
- ③ REC INPUTキーでソースに合わせる  24
- ④ 録音レベルを調整する

●本機もPOWERキーをオンにします。

3 アンプの音量を決める

タイマー再生するとき

- ① ミニディスクを再生する
- ② アンプの音量を調節する
- ③ ディスクを停止する

タイマー録音するとき

アンプの音量を最小にする。

●タイマー録音をする場合、誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。

●タイマー録音をする場合、必ず録音可能時間を確認してください。  47

4 タイマースイッチを設定する

タイマー再生するとき



タイマー録音するとき



●設定した時刻がくると、自動的にディスクの再生、または録音が始まります。(接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。)

5 タイマー時刻を設定する

タイマー再生するとき

希望の時刻がくれば本機の電源が入るようにタイマーを設定する。

タイマー録音するとき

希望の時刻がくれば本機の電源が入り、チューナーを受信するようにタイマーを設定する。

●タイマースイッチ設定後、リモコンのON/STANDBYキーをオンにすると、タイマー動作が始まりますので、注意してください。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

POWERキーがオンのままの状態、電源プラグをコンセントから抜き、イジェクト(▲)キーを押しながら、差し込みます。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

MD規格上の症状

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間(60分、74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用ミニディスク(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 ●編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスク。
タイトルが1792文字入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意味	処置
ノーマル ディスク NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。
アンロック 001 UNLOCK	●デジタルコードまたは光ファイバークーブルがはずれているか、不完全である。(接続されていない。)	●デジタルコードまたは光ファイバークーブルを正しく接続する。 -[8]
001 SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。 -[24]
ノット オーディオ 001 NotAudio	●入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。	●アナログ録音に切り換える。 -[24]
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。 -[42]
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
ノーマル トラック NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。
リーディング READING	トック ●TOC *1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。
ディスク エラー DISC ERROR	ユートック *2 ●UTOOC *2 の内容が異常である。	●全曲消去"←ALL"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。-[40]
エディット EDIT NOW!	●編集中である。	●故障ではありません。
キャンセル エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	エンター ●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。
プロテクト PROTECTED	●ミニディスクが"WRITE PROTECT"されている。	●"WRITE PROTECT"を解除する。 -[4]
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。 -[6]

その他の症状

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 - [8] ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(アナログ録音時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●REC INPUTキーの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ●システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 - [4] ●アナログ録音にする。 - [24] ●録音レベルを調節し直す。 - [25] ●録音用ミニディスクを入れる。 - [6] ●ミニディスクを入れ換える。 ●実際の入力ソースと合わせる。 - [24] - [26] ●アンプの入力切り換えをMD以外にする。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルを調節する。 - [25] ●ミニディスクを交換する。
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●外部の雑音を誘導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。
リモコンで電源がオンできない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のPOWERキーがオフになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のPOWERキーをオンにする。



トラック TOC*1 : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (テーブル オフ コンテンツ Table Of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
- [50]

ユーザトラック UTOC*2 : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC (ユーザズ テーブル オフ コンテンツ User's Table Of Contents) と呼びます。このUTOCには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。
- [50]

【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding) <small>アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング</small>
回転数	約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバーター	1ビット+D.R.I.V.E.変換
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)

【A/Dコンバーター】

A/Dコンバーター	4次 $\Delta \Sigma$ 方式
サンプリング周波数	44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	100 dB 以上
ダイナミックレンジ(再生時)	94 dB 以上
総合ひずみ率(1 kHz、再生時)	0.007 %以下
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度/入力インピーダンス	500mV / 22 k Ω 以上
アナログ出力レベル/出力インピーダンス	2.0V / 300 Ω 以下
ヘッドホン	20mW/32 Ω 負荷
デジタル入力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75 Ω
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm
デジタル出力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75 Ω
オプティカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	13 W
最大外形寸法	幅 440 mm
	高さ 94mm
	奥行 373 mm
質量(重量)	4.9 kg(正味)



- 1.これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 2.極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認くださいのうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、または最寄りのケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。

(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。

- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

持込修理と出張修理

「持込修理」「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。

- 修理のためにセットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。

- ステレオ補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料:故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代:修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料:製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名 -----
- 製造番号(SERIAL No.) -----
- お買い上げ年月日 -----
- お買い上げの販売店名 -----
- 故障の症状(できるだけ具体的に) -----
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号) -----

愛情点検

このような症状はありませんか？



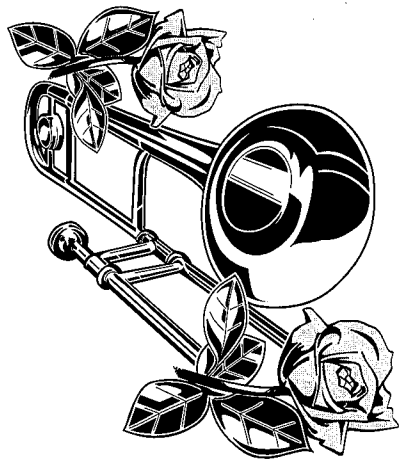
- 電源をONにしても音が出ない。
- 音が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源をOFFにしても音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

ご使用中止！

故障や事故防止のため、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。必ず販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所までご連絡ください。

54

MEMO:



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9（ケンウッド青葉台第二ビル）
（大阪）電話（06）357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。